

広報

てんじ

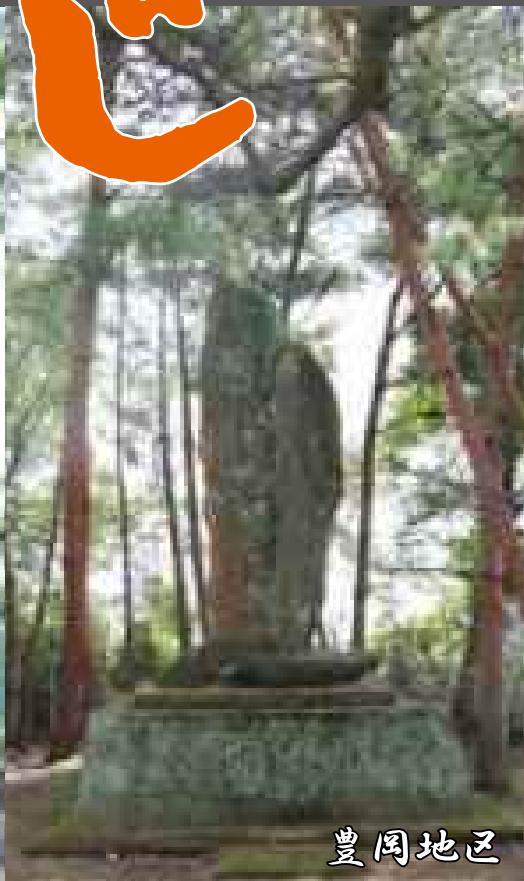
8

2015

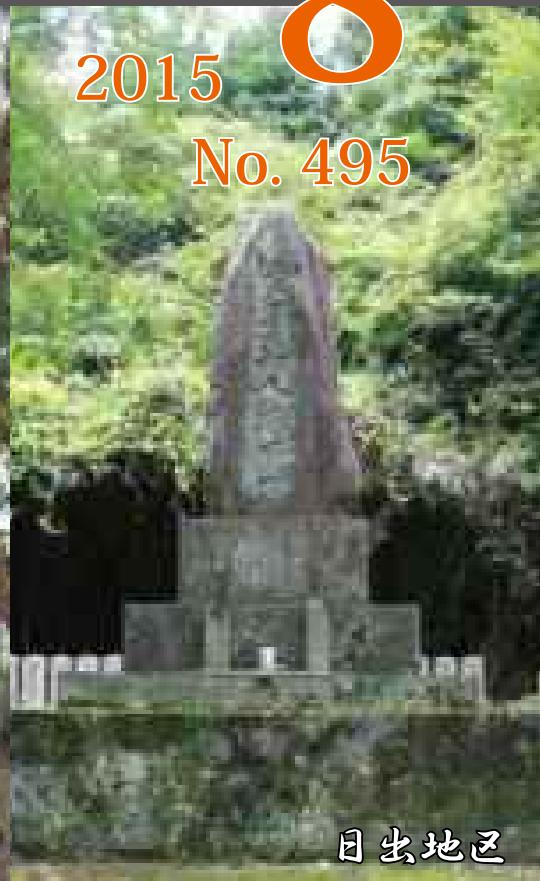
No. 495



南端地区



豊岡地区



日出地区



藤原地区



川崎地区



大神地区

特集 戦後70年 戦争と平和について考える

写真は、町内に建立されている、戦没者を祀る慰靈碑

戦後70年

戦争と平和について考える

多くの方が犠牲になつた戦争

催されており、日出町でも毎年行われています。

昭和20年8月15日、太平洋戦争（第二次世界大戦）の終わりを告げる玉音放送が国民に向けて放送されました。戦没者310万人。先の大戦において亡くなられた、軍人や一般人の概数です。日中

戦争以降の戦争で、これだけ多くの方が犠牲になりました。

戦後70年。節目のこの年に、戦争がもたらした悲劇、そして平和について考えます。

全国で行われる戦没者追悼式

戦没者を追悼し、平和を祈念するため、政府は毎年8月15日に全国戦没者追悼式を行っています。全国各地の自治体でも同様の追悼式が開



参列者が献花を行う様子

た。私たちにとって、永遠に忘ることのできない深い悲しみであり、痛恨の極み」と、724柱の英靈に思いを馳せました。

参列者全員による献花が行われた後、日出詩道会の麻生義靈さんの追悼吟で閉式しました。

日出町戦没者追悼式

7月3日、中央公民館の

ホールで日出町戦没者追悼式が行されました。式には、遺族など約260名が参列。

式辞で町長は、哀悼の言葉を述べた後「過去の悲惨な史実を風化されることなく、平和の尊さを次の時代に語り継いでいくことは、今を生きる私たちに課せられた重要な使命。恒久平和の実現と、安心して心豊かに暮らせる社会を築くために全力を尽くしたい」と話しました。

追悼の言葉では、日出町遺族会連合会会長の一宮敬司さんが「祖国を思い、家族のことを案じながら、数多くの

方が戦禍に倒れ命を落とした。私たちにとって、永遠に忘ることのできない深い悲しみであり、痛恨の極み」と、724柱の英靈に思いを馳せました。

31年4月の編入・分離を経て今の日出町が誕生しましたが、誕生当初は旧町村ごとに追悼式が開催されていました。誕生から数年経つと後、日出町全体での追悼式の形になりました。



戦没者の遺族の想い

日出町遺族会連合会の現会長である一宮敬司さんと前会長の本田哲明さんに、亡くされた方、当時の状況、戦後70年にあたつての想いなどを伺いました。

一宮敬司さん（73歳）

3歳半くらいのとき、父親（一宮憂雄さん。享年35歳）を亡くしました。昭和20年の終戦間際だったと思います。私と1歳の妹、母と祖母の4人が残されました。もともと父は農業と石工をして収入を得ていましたが、戦死を境にその収入が途絶えることになりました。

父は最初、小倉の曾根という陸軍の飛行場で、整備や訓練などをしていたと聞いています。その後、南方のフィリピンに送りこま

れました。最前線の戦場にいたと思いますが、死亡の詳しい経緯は分かりません。死亡の知らせは、所属していた陸軍から県に連絡があり、当時の豊岡町を通じて、県知事名で戦死の公報が届きました。古い官報を切り貼りして作った手づくりの封筒に、母の宛名が書かれていたことを覚えていました。



戦死した一宮憂雄さん

戦時中は、幼児だったのでもあり記憶にありませんが、家の裏の防空壕に何度も避難したことは覚えてています。大分の高城辺りが空襲に遭ったときだと思いますが、避難が遅れて防空壕までたどり着けなかつたことがありました。近くの大きな椎の木の下に隠れて避難しましたが、そのときの真っ赤な色の空は忘れることができません。それと、島山に航空母艦が接岸していたことがあって、敵に見つからないよう母艦を擬装していましたことは記憶にあります。水兵た

ちが鹿鳴越山に登り、そこで切つ

た木を持ってきて、母艦に被せる
作業をしていました。子どもなが
らに『何をしているんだろう』と
思つて、母に聞いたことを覚えて
います。

戦後はとにかく物資が不足して
いました。手づくりの封筒の話を
しましたが、それぐらい何もな
かつたんだと思います。履物は店
にすら置いていない状況で、履き
くずしたような靴や祖母が編んだ
藁草履で学校に行っていました。
小学2年生の頃、生活物資の配給
制度というのができたと思いま
す。その配給で送られてくる簡易
な履物は、学校の1クラス（30
人）に3、4足分しかなく、そ
の履物の購入権を抽選していまし
た。せつかく当選しても、購入す
るお金がない家庭は次の人にその

権利を譲るという感じでした。

とにかくいろんなものが欠乏し
ている時代でしたが、少しばかり
農業をしていましたが、少しづつ、食
べることにはさほど困りませんで
した。もちろん、贅沢ができると
いうわけではないです。食べるも
のに困っている街の人々が、お金や
着物を持って米や野菜を分けてほ
しいとお願いに来ることはよくあ
りました。でも、野菜を多く作つ
ていたわけではないので、売るも
のがありませんでしたが。食料を
少しでも手にしたいという想いか
ら、農業を手伝わせてほしいとい
う人もいたほどの時代でした。

当時は幼児だったので戦闘の経
験はありませんが、戦後を通じて
戦争の悲惨さは経験しました。私
たちがその最後の年代かなと思つ
ています。客観的に考えたとき
に、平和のありがたさというのは
当たり前のようであるけれども、
真剣に考えなければならない時期
にきているのではないかと感じま
す。誰も好きで戦死したわけでは
ない。そんな戦争を二度としては
いけないと思います。



当時の状況を話す一宮敬司さん

本田哲明さん（82歳）

昭和19年5月5日に父（本田長
八郎さん。享年43歳）を亡くしま

した。海軍の兵士だった父は、軍
艦に乗ってトラック島（現在のミ
クロネシア）に向かっている途

中、紀州（和歌山県）の沖合で潛
水艦に沈没させられました。もと
もとは志願兵で、若い頃兵役に就
いたんですが、任期を終えて一度
戻ってきます。その後、40歳
のときに召集があり、3年後に戦
死しました。当時12歳だった私と
弟、母が残されました。



本田長八郎さんの肖像画

この辺りでは、それぞれの家で
防空壕を造っていましたので、空
襲があれば各家庭で避難していま
した。私も、空襲の際はその防空
壕に避難していましたが、雨避け
程度の防空壕でしたので、今考え
れば何の役にも立たなかつたと思
います。そんなこと、当時は考え
ませんでしたが。

旧制中学校（現在の杵築高校）
に通っていたときのことですが、
空襲に遭つたことがあります。多

くの学生が校庭から正門方面に向
けて退避していましたが、私たち
のすぐ近くまでグラマン（敵国の
戦闘機）が迫ってきました。機銃
掃射（機関銃で敵をなぎ払うよう
に射撃すること）されてもおかし
くない状況でした。幸運にもそ
のまま何もせずに離れていきました。
「子どもだからやめておこう」と搭乗員が考えたのか、たまたま
弾薬がなかつただけなのか、機銃
掃射しなかつた理由は分かりませ
んが、命拾いをしたことは確かで
す。

学校では当時、軍事教育が行わ
れており、その教官として将校が
いました。座学と実技の両方が
あつたんですが、実技では木銃を
使つた『突き』の訓練をしていた
ことを覚えていました。徴兵後に役
立つからだと思いますが、剣道の
授業も行われていました。はつき
りした記憶ではありませんが、週
に何回かはそういうふた授業が行わ
れていたと思います。

戦争がひどくなつた時期には、
地区に分校のようなものもできま
した。通学距離が長いと、戦禍に
巻き込まれる可能性が高くなるた
めです。日出地区では松屋寺が学
び舎となり、付近に住む学生が学
びます。回天大神訓練基地に
通っていました。この頃だつたと
思いますが、回天大神訓練基地に

も行つたことがあります。防空壕

を掘る作業のためですが、豊岡か
ら長い距離を歩いて行つたことを

覚えています。

終戦前、城下海岸に航空母艦の
海鷹が避難していたことがあります。
その際、鹿鳴越方面から来た
グラマンと撃ち合いになり、多く
の日本兵が負傷しました。その負
傷者たちが、海軍病院（現在の別
府医療センター）へ車で運ばれて
いたことを記憶しています。海鷹
がグラマンを迎撃し、別府湾へ墜
落する様子も目撃しました。



海鷹の話をする本田哲明さん

ヤミ物資の買い出しに行き、警察

に見つかって没収なんてこともあ
りました。ヤミ物資でも手に入れ
なければ生活できない、そんな時

代だつたんです。

戦没者の遺族も高齢化が進んで
います。戦没者の子どもで考えて
も、最年少は70歳。戦争を風化さ
せないためにも、戦没者の孫の世
代に継承していく必要があると考
えています。「英靈を顕彰し、世
界平和に向けて遺族として努力し
たい」。これが戦後70年を迎える
にあたつての想いです。

兵役に就いた方の想い

兵役に就き、実際に戦地へ赴いた白石博敏さんと楠久さんに、当時の状況、忘れられない体験、戦後70年にあたつての想いなどを伺いました。

白石博敏さん（89歳）

戦後、農家をしていましたので、多少は食べる物がありました。それでも母親が買い出しに行つてきましたので、農業をしていないところはもつと大変だったんじゃないでしょうか。当時は、

和20年5月、20歳のときに砲兵連

隊に入隊します。兵隊は21歳で募

集していましたが、戦争が激化し

てきたこともあり、年齢が繰下げ

られて召集されたわけです。



砲兵として戦場にいた白石博敏さん

えを凌いだことを覚えていきます。

収容先は、北緯50度のコムソモ

リスク（現在のロシア）という都

市にありました。室内でも、床に

落ちた水が凍つてしまふような極

寒の地です。その場所で私たちは

強制労働をさせられていました。

日本軍時代の階層別に業務が振り

分けられ、入隊してからの期間が

短い初年兵などは屋外での材木の

伐採を強いられました。本来であ

れば、初年兵である私も屋外での

伐採作業を行うはずでしたが、見

習い工として教育を受けた3年間

の経験が買われ、下士官たちと同

じ屋内での業務となりました。

食事についても恵まれていまし

た。初年兵は飯盒の掛子（中蓋の

こと）に8分目のおかゆで、古

兵は外蓋に8分目のご飯でした

が、私は下士官同様、飯盒に半分

くらいのご飯を食べられました。

寝る場所についても同じです。三

段ベッドのように仕切つているス

ペースで寝てきましたが、下段に

初年兵、中段に古兵、上段に下士

官というように分かれしており、私

は上段で寝ることができました。

暖気は上にあがるので、下段に比

べれば暖かい場所で睡眠を取ること

は全てにおいて過酷な状況下に置かれていました。ですから、初年兵のほとんどは亡くなっています。見習い工として受けた3年間の教育が、私の生死の分岐点だったのではないかと思います。

昭和24年、3年半ほどの収容生活を終え、帰国の準備のためハバロフスク（現在のロシア、中国国境付近）へ移動します。そのまま日本へ帰国できる者も多数いましたが、私はここに3ヶ月間滞在することになります。その間は、赤の教育（共産主義についての教育）を受けさせられました。その後ナホトカ（現在のロシア、日本海の北西部）を出航して、10月に京都の舞鶴港に到着。帰国後は別府市内の鉄工所で働くことになりました。



ハイラルでの話をする楠久さん

この頃、警察が鉄工所へ私の様子をちよくちよく見に来ています。赤の教育を受けたことが原因です。その監視が嫌で、実家に帰つて農業をはじめました。

戦争に行つて、生き残っている人。当時は『死にそこない』だと思われたでしょうが、私は運がいい人だと思います。

殺し合い、物資の略奪などが平気で行われるような戦争は悲惨なもののです。平和が一番。平和でなければならないと思います。

昭和24年、3年半ほどの収容生活を終え、帰国の準備のためハバロフスク（現在のロシア、中国国境付近）へ移動します。そのまま日本へ帰国できる者も多数いましたが、私はここに3ヶ月間滞在することになります。その間は、赤の教育（共産主義についての教育）を受けさせられました。その後ナホトカ（現在のロシア、日本海の北西部）を出航して、10月に京都の舞鶴港に到着。帰国後は別府市内の鉄工所で働くことになりました。

楠久さん（93歳）

昭和12～13年頃、21歳のときには満州のハイラル（現在の中国）というところに行きました。満州北部の『北満』と呼ばれる地域です。志願兵ではなく、召集令状による徴兵でしたが、令状が届いたときは「きたか」という感じでした。

『山の向こう側はソ連』という場所にハイラルはあり、ちゃんと通じた道路もないようなところです。『寒い』という表現以外では説明しにくい場所でした。現地では、陸軍の兵士として国境警備の任務に当たっていましたが、夜間、国境の見回りをしている際に尿意をもよおしたことがあります。

何回か、ソ連軍の若い兵士が逃亡してくることがありました。当時のソ連は食糧難だったため、兵士たちは腹いっぱい食べることができなかつたんです。そのため、日本軍に行けば食糧にありつけるとの思いで、逃亡してきていたようですね。当時、ハイラルでは、普通に食べるくらいの食糧はありますから、その気持ちも考えて食糧を分けていました。要は、危険を覚悟のうえで日本軍へ向かうわけですから、その気持ちを酌んであげて：ということです。

国境ということもあり、いつ攻め込まれるか分からないという緊張感はありました。すぐに戦争が始まるという場所ではありませんでした。ですので、戦地の最前线ほど大変だったということはありません。寒い場所でしたが、戦後に抑留されたわけでもありませんので、他の場所に比べればまだましだったのかもしれません。ハイラルに行つた人は、比較的生存して帰国していますから。

この場所に、終戦までの3年間滞在しましたが、同じ時期にハイラルへ行つた山香の知人はいつの

す。その場で用を足したら、地面側から尿が凍りました。それくらい寒い場所だったということです。

何回か、ソ連軍の若い兵士が逃亡してくることがありました。当時のソ連は食糧難だったため、兵士たちは腹いっぱい食べることができなかつたんです。そのため、日本軍に行けば食糧にありつけるとの思いで、逃亡してきていたようです。当時、ハイラルでは、普通に食べるくらいの食糧はありますから、その気持ちも考えて食糧を分けていました。要は、危険を覚悟のうえで日本軍へ向かうわけですから、その気持ちを酌んであげて：ということです。

国境ということもあり、いつ攻め込まれるか分からないという緊張感はありました。すぐに戦争が始まることで、戦地の最前线ほど大変だったということはありません。寒い場所でしたが、戦後に抑留されたわけでもありませんので、他の場所に比べればまだましだったのかもしれません。ハイラルに行つた人は、比較的生存して帰国していますから。

この場所に、終戦までの3年間滞在しましたが、同じ時期にハイラルへ行つた山香の知人はいつの

間にかいなくなりました。滞在中にいなくなつたのか、はつきりしたことは分かりませんが、こつちは戻つてきていません。帰つてきていらないということを考えれば、もう亡くなつているとは思いますが。

争いというものは、人間から取り除くことができるものじゃないような気がします。人間には付きまとうものだと思います。だけど、こういうことは減らさないといけない、無くさないといけないとも思っています。戦争がなく、平和なことが一番良いということは分かり切ったことです。そうは言つても、それができないのが人間なんだと思います。それが核心部分なのかもしれません。

人間魚雷『回天』

町には、戦争に関係する遺構が存在します。大神牧の内地区にあります、人間魚雷『回天』の回天大神訓練基地跡です。『回天』は、自らが操縦して体当たりする魚雷で、『天を回らし戦局を逆転させる』という意味で名付けられました。

昭和20年4月25日に大神突撃隊（基地内搭乗員数285名）が開隊し、5月23日に別府湾での訓

練が始まりました。8月3日、大神基地から8名の出撃があり、愛媛県の麦が浦へ向けて出航。8月12日に出撃待機命令を受けました

が、3日後の15日、出撃しないまま終戦を迎えます。8月25日に解隊となりましたが、出撃することが決まってからの搭乗員の心情は計り知れません。



回天神社で行われた例大祭（昨年）の様子

町の取り組み

平成2年7月、町議会で『日出

町核兵器廃絶平和自治体決議』が採択され、町としてもその宣言文

の実現は、人類が遵守しなければならない普遍的な理念であり、美しい郷土を守り、豊かな暮らしを人々孫々に伝えていくことは、現在を生きる我々の最大の責務である』との記載があり、恒久的平和の実現に寄与することを目的とした内容となっています。



中央公民館に設置されている『核兵器廃絶平和宣言の町』の看板

り、子どもたちの平和学習の場として、また回天大神訓練基地跡を見学に訪れる方の拠点施設として活用されています。

悲惨な過去を消すことはできません。しかし、輝く未来を自分たちで創ることはできます。身近なお年寄りから体験談を聴き、自分で考え、平和ですばらしい未来を築いてみませんか。

これから先、あなたの自身が、子どもが、孫が、戦禍に巻き込まれることのないよう、町としても平和への取り組みを推進します。



昨年の平和授業で、折り鶴を折っている様子（藤原小学校）

町内の小・中学校でも平和に関する学習・授業が行われています。8月6日の（広島）原爆の日は夏休みの登校日になつており、学校ごとに様々な取り組みを実施しています。平和集会や保護者による読み聞かせ、折り鶴の作成や平和について考える授業など、昔から続いている『今も変わらぬ、平和を願う取り組み』です。

未来へ向けて

今年4月には、人間魚雷『回天』に関係した戦没者1073柱を祀った回天神社（住吉神社末社）もあります。

開隊日の4月25日には、大神回天会（松本智会長）が毎年例祭を開催し、戦没者の追悼を行っています。

今年4月には、平和を象徴する公園となることを願った『回天大神訓練基地記念公園』も竣工しました。公園内には、人間魚雷『回天』の実物大模型も設置してお

戦後70年。戦争を経験された方も少なくなってきました。戦争体

今回、戦後70年について取材させていただきました、4名の方に対しまして、この場をお借りしてお礼申し上げます。



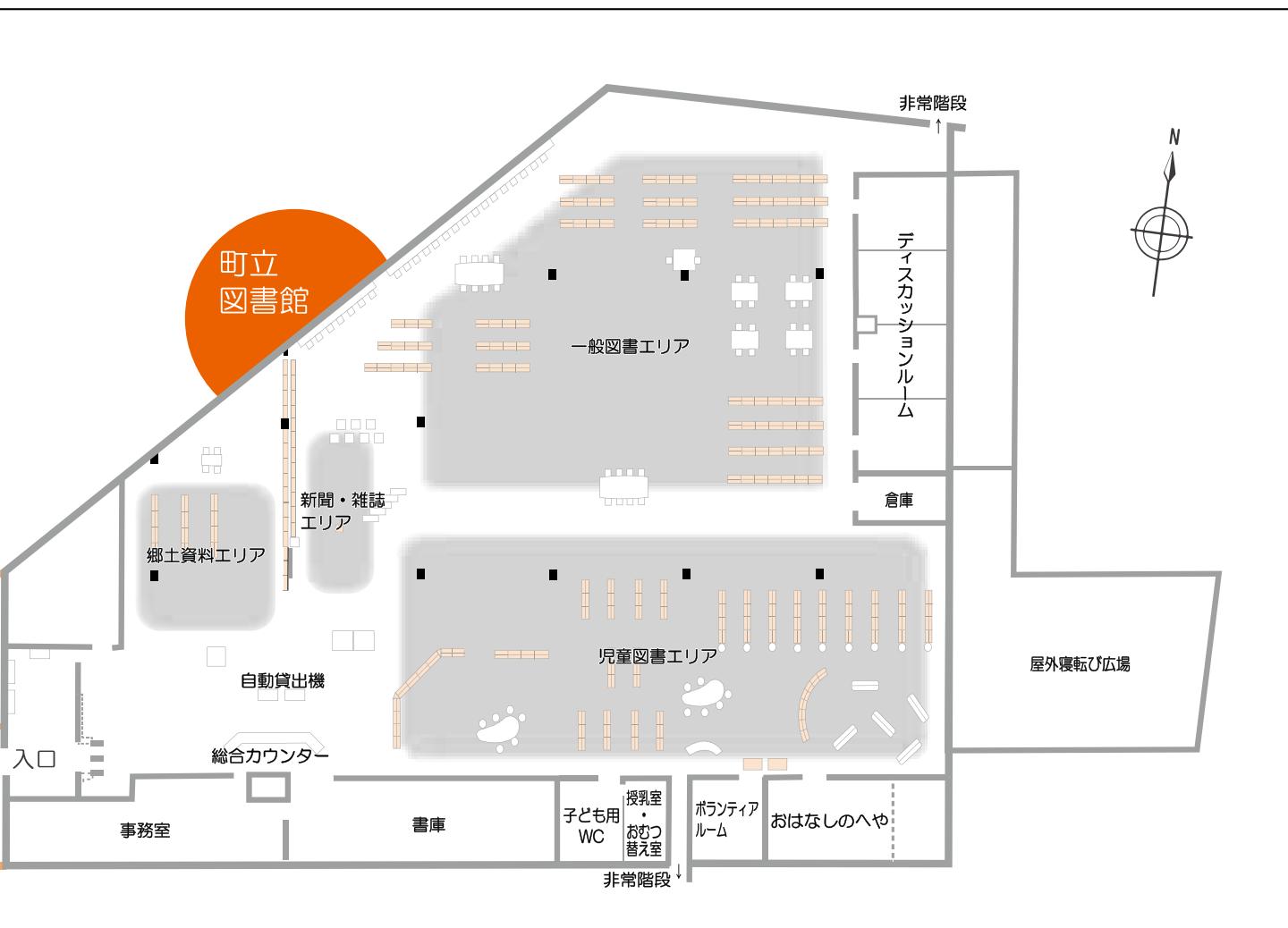
交流ひろば HiCaLi 待望のオープン

その後に行われた開館記念式典で、町長は「BiVi日出の開業から50日くらい遅れたが、子どもから大人まで多くの町民が交流できる『交流ひろばHiCaLi』をオープンすることができた。皆さんに協力いただきながら、この施設を充実・発展させたい」とあいさつ。経過報告では、「HiCaLi」の由来についての説明の後、命名者である大坪文人さん（日出佐尾区）が紹介されました。

立図書館と多目的エリア)が、7月18日、BiVi日出2階にて、関係者6名と町内の小学1年生6名によるテープカットが行われました。



小学1年生と一緒にテープカット



達により影響を与えます。または感性が豊かになり、言葉の発達で多くの絵本や児童図書を読むことは、絵本の読み聞かせは特に大切です。絵本や児童図書を読むことは、感性が豊かになります。その多くの絵本の中でも、地で長く仕事をしてきました。子どもたちは育ちの中で、さまざまな数多くの体験を積み重ねるということが大切です。スマホばかり見て、部屋に閉じこもっている生活はよくありませんよ。その多くの体験の中でも、地で長く仕事をしてきました。

「私は小児科医として、この感謝状贈呈式では、絵画と本約750冊を図書館に寄贈した矢野小児科院長の矢野英二さん」に感謝状が手渡されました。寄贈にあたり、矢野さんは次のようにコメントしています。

「4名が行つた来賓あいさつでは、町議会の熊谷健作議長が『図書館長、スタッフが明確な目標を持つて、立派な図書館となるようがんばつてほしい』とエネルギーを贈りました。



大坪文人さんに賞状が贈呈された際の様子（3月25日）

考える力が育つていきます。やさしさや勇気など心の世界を親子で味わう喜びがあります。本を読むことは非常に大切なことだと思います。



矢野英二さんと寄贈された絵画

一時預かり室について

一時預かり室では、満1歳児から小学校就学前の幼児を対象に一時保育を行います。

1時間500円で最長3時間まで利用できます。

※前日までの予約が必要です。

■問合先 交流ひろば HiCaLi
一時預かり室 ☎ 72-6611

また、図書館に時計3台を寄贈した9時30分、図書館の開館に合わせて多くの方が来場。親子3名で訪れた、川崎小学校5年生の小蘭恵巳さんは「図書館の開館をとても楽しみにしていました」と、本を3冊借りていました。

交流ひろば HiCaLi 施設案内

【休館日】

月曜日・毎月最終木曜日（祝日の場合は翌平日）・年末年始（12月29日～1月3日）

多目的エリア

会議室

開館時間 9:30～22:00

一時預かり室

開館時間 9:30～17:00

子育て支援室

相談時間 9:30～17:00

多目的室

開館時間 9:30～22:00

喫茶室

使用時間

（平 日） 9:30～19:00

（土日祝） 9:30～17:30

町立図書館

図書館

開館時間

（平 日） 9:30～19:00

（土日祝） 9:30～17:30

※上記休館日の他、蔵書点検期間は休館となります。

【住所】

〒879-1506
日出町 3244 番地 1

【電話】

一時預かり室・
子育て支援室 ☎ 72-6611
事務室（多目的エリア） ☎ 72-9922
町立図書館 ☎ 72-3232



マイナンバー制度についてご紹介します！

最近、テレビや雑誌・新聞などで“マイナンバー”という言葉をよく聞きます。

「マイナンバーって何？」と思われている方も多いのではないでしょうか。

今回はこの制度のあらましをご紹介します。



マイナンバーキャラクター
マイナちゃん

1

マイナンバーって何？

マイナンバーとは、赤ちゃんからお年寄りまで住民票のある住民一人ひとりに、もなく、重複なく付けられる12桁の番号のことです。中長期在留者や特別永住者などの外国人の方にも付番されます。

マイナンバーは一生使うもので、漏えいや不正使用のおそれがある場合を除き、一生を通じて変更されることはありません。

この制度は**社会保障**、**税**、**災害対策**の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が、同じ人の情報であることを確認するために活用されます。

2

マイナンバーって何の役立つの？

マイナンバー制度を導入することには3つのメリットがあります。

1. 公平・公正な社会の実現



所得や他の行政サービスの受給状況が把握しやすくなります。そのため、本当に困っている方にきめ細かな支援を行えるようになり、負担を不当に免れることや給付を不正に受けることを防止できるようになります。

2. 国民の利便性の向上



添付書類の削減など、行政手続が簡素化され、国民の負担が軽減されます。また、行政機関が持っている自分の情報を簡単に確認したり、行政機関から様々なサービスのお知らせを受け取ったりできるようになります。

3. 行政の効率化



行政機関や地方公共団体などで、様々な情報の照合、転記、入力などに要している時間や労力が大幅に削減されます。複数の業務の間での連携が進み、作業の重複などの無駄が削減されるようになります。

3

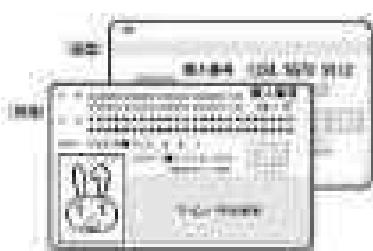
私のマイナンバーが届くのはいつ頃？どのような手続きが必要なの？

1. 今年10月から【通知カード】を世帯毎に住民票の住所に送付します（簡易書留郵便）

【通知カード】というのは偽造防止対策が施された紙製のカードで、住所・氏名・性別・生年月日とともに12桁のマイナンバー（個人番号）が記載されています。

なお、通知を確実にお受け取りいただくため、今、住んでいる住所と住民票の住所が違う方は、住民異動届の提出をお願いします。

2. 平成28年1月から、申請により【個人番号カード】を無料で交付します



(個人番号カードサンプル)

【個人番号カード】というのは、プラスチック製のカードで、通知カードに記載されている情報に加えて顔写真も表示されますので、本人確認用の身分証明書として利用できます。また、行政手続き申請時に個人番号カードを提示することにより、添付書類が省略されるなど負担軽減にも役立ちます。

また、カードの券面にある情報のほか、搭載されたICチップには電子申請のための電子証明書が記録されます。この電子証明書により、e-Tax（国税電子申告・納税システム）をはじめ、各種電子申請が行えるようになります。

一方で、所得情報や病歴などの個人情報は記録されませんので、個人番号カード1枚からすべての個人情報がわかつてしまうことはありません。



平成28年1月からマイナンバーが行政手続きで使用できます

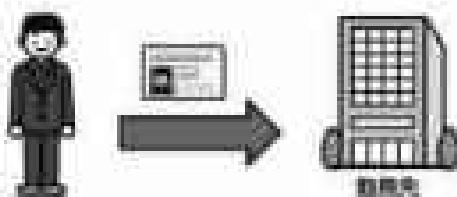
今後このような場面においてマイナンバーが利用されるようになります。



厚生年金の裁定請求時には
年金事務所にマイナンバーを提示



毎年6月の児童手当の現況届けの際に
市町村にマイナンバーを提示



勤務先にマイナンバーを提示し、
源泉徴収票などに記載



個人情報の管理は大丈夫なの？

マイナンバーが果たす役割は今後、益々増えていくものと考えられますが、マイナンバーを含めた個人情報の漏えい対策も講じられています。

マイナンバーの利用範囲は社会保障、税、災害対策分野のみに限定されていて、法律や自治体の条例で定められた行政手続きにしかマイナンバーを使うことはできません。

また、マイナンバー制度における個人情報の管理にあたっては、今まで各機関で管理していた個人情報を引き続きその機関で管理し、必要な情報を必要な時だけやり取りする「分散管理」の仕組みが採用されています。マイナンバーをもとに特定の機関が共通のデータベースを構築して一元管理することではなく、そこから個人情報がまとめて漏れるようなこともありません。

『なりすまし』防止のためには、厳格な本人確認の義務付けや利用範囲の法律での限定などの措置を講じています。しかし、マイナンバーは生涯にわたって利用する番号なので、カードを紛失したり番号を他に漏らしたりしないように大切に保管してください。法律や条例で決められている社会保障、税、災害対策の手続きで行政機関や勤務先に提示する以外は、むやみにマイナンバーを他人に教えないようにしてください。

『マイナンバー制度』の詳細や最新情報については、内閣官房のホームページをご覧ください。

国勢調査
2015

＼5年に1度の大調査!!／

国勢調査を実施します！

国勢調査は、日本国内に住むすべての人と世帯を対象とした、国の最も重要な統計調査です。

今年の調査は、パソコン・タブレット・スマートフォンからもご回答いただけます！

調査票の配布に先行して調査員が各世帯を訪問し、「インターネット回答の利用案内」を配布します。

その後、期限内にインターネットによる回答のなかった世帯にのみ調査票を配布する方法で行われます。



► パソコン、タブレット、スマートフォンでの回答をご希望の方は…

インターネット回答をご利用ください。いつでもどこでも、便利に回答ができます。

インターネット回答は
9月10日～20日

9月1日～9月12日

調査員がインターネット回答用IDを配布するため各世帯にお伺いします。

9月10日～9月20日

インターネット回答が可能です。



► 従来通りの調査票提出をご希望の方は…

インターネット回答をしなかった世帯には、従来どおり、調査員が調査票をお配りいたします。



調査票での回答は
10月1日～7日

9月26日～9月30日

調査員が調査票を配布するため各世帯にお伺いします。

10月1日～10月7日

調査票を調査員に提出してください。

回答いただいた情報は厳重に保護されます。国勢調査は『統計法』で厳格な秘密保護が定められています。回答いただいた内容は統計以外の目的に使用することはありません。調査結果は、福祉施策や防災計画、生活環境の改善をはじめとした日本の未来をつくるために欠かせない様々な施策の計画づくりなどに役立てられます。マンションなどの集合住宅にお住まいの方、管理者の方におかれましても調査への回答、ご協力をお願いいたします。

詳しい情報は、『国勢調査2015』ホームページにも掲載されています。
お問い合わせは、政策推進課（☎73-3116）まで。

日出町職員募集（平成28年4月採用）

- 第一次試験日 9月20日（日）
■試験会場 日出中学校
■申込受付期間 8月3日（月）～8月21日（金）（土日は除く）
＊郵送の場合は8月21日（金）消印有効
■試験内容 上級試験は大学卒業程度、初級試験は高校卒業程度の学力を必要とする試験問題
■提出書類 日出町職員採用試験受験申込書・受験票・受験票返送用の封筒
■申込書配布 総務課で8月3日（月）から配布
日出町ホームページ（<http://www.town.hiji.oita.jp/>）からもダウンロードできます。

■試験区分・職種・採用予定者数・受験資格

試験区分	職種	採用予定者数	受験資格
上級	一般行政職【事務】	3名程度	平成2年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた方
	保健師	1名	平成2年4月2日以降に生まれた方で保健師の資格を有する方または平成28年3月31日までに取得見込の方
	社会福祉士	1名	平成2年4月2日以降に生まれた方で社会福祉士の資格を有する方または平成28年3月31日までに取得見込の方
初級	一般行政職【事務】	1名	平成6年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた方
	一般行政職【土木】	1名	平成6年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた方で土木の専門知識・技能を有する方

*身体障害者福祉法第15条に定める身体障害者手帳の交付を受けている方は、下記の要件を満たせば受験できます。

- ①自力による通勤ができる、かつ、介助者なしに職務の遂行が可能である
- ②活字印刷物による出題に対応できる

*いずれの職種も学歴、性別および日本国籍の有無を問いません。ただし、日本国籍を有しない場合は永住者または特別永住者に限られます。

*住所は問いませんが、採用後日出町に居住することができる方のみ受験できます。

*地方公務員法第16条に該当する方は受験できません。

■申込書提出・問合先 総務課総務人事係 ☎ 73-3150

非常勤職員募集

■職種	介護保険認定調査員	電話交換手
■採用人数	1名	1名
■雇用期間	平成27年9月1日～平成28年3月31日 (更新あり)	平成27年9月1日～平成28年3月31日 (更新あり)
■勤務形態	月17日勤務	月17日勤務
■勤務時間	9時～17時	8時30分～16時30分
■報酬月額	183,600円	129,200円
■要件	介護支援専門員または保健師・正看護師の資格取得者で普通自動車免許有、パソコン操作ができる方	電話交換業務とパソコン操作ができる方
■提出書類	①履歴書（JIS規格、A3サイズ） ②介護支援専門員証（写）または保健師・看護師免許証（写）	①履歴書（JIS規格、A3サイズ） ②介護支援専門員証（写）または保健師・看護師免許証（写）
■募集期間	8月14日（金）までに提出書類を総務課へ提出してください（8時30分～17時、土日除く）。 後日、面接を行います。	

■提出・問合先 総務課総務人事係 ☎ 73-3150

岡部奈央さん マラウイへ

6月23日、青年海外協力隊（JICAボランティア）の隊員として



出発報告をする岡部奈央さん

てマラウイ共和国（アフリカ大陸南東部）へ赴く岡部奈央さん（藤原南部区）が役場を訪れ、町長に出発の報告を行いました。県内からは平成27年度第1次隊で4名が各国に派遣され、そのうちの1名としてマラウイへ行くことになりました。

出発は7月6日。同じ国に派遣されるメンバー（全13名）と、成田空港から香港・南アフリカ共和国を経由し、1日強の時間をかけてマラウイへ。丸2年の滞在期間中は、教育研修センターで勤務します。主な活動は、8つの小学校を巡回して行う情操教育（音楽・体育・図工の指導）です。

大学生時代に小学校の放課後ボランティアに参加していたという岡部さん。就職活動中、もともとボランティア活動に興味があつたこともあり、JICAボランティアへの参加を決めたそうです。「本当は中南米に行きたかったんですけど、マラウイについていろいろ調べたので、今から行くのが楽しみです」と笑顔で話してくれました。

町長は「健康に気をつけ、日本を双肩に担ってがんばってほしい」とエールを送りました。『広報ひじ8月号』の発行時点では、すでに現地で活動中。2年後の報告を楽しみにしています。



コンサートに聴きに入るサロン参加者

何でも話せる場所として ひとやすみ「ミニユーニティ サロン」in 大神ファーム

6月27日、ひとやすみコミュニティサロンが大神ファームで開催されました。通算16回目の開催で、大神ファームでは2回目。このサロンは、がん患者本人やその家族の方に対し、何でも話合うことができる場所を提供し、負担軽減を図ることを目的として行っています。通常は、湯のまち訪問看護ステーション（別府市南立石）で行っていますが、サロンの趣旨に賛同する大神ファームの協力を得て、年1回、花に囲まれた環境で開催しています。

当日は、県内外から約30名が参加。サロンを主催する湯のまち訪問看護ステーション（別府市南立石）で行っていますが、サロンの趣旨に賛同する大神ファームの協力を得て、年1回、花に囲まれた環境で開催しています。

また、安藤房代さん（別府市）は看護師として、「家庭・地域で患者の方がどのように生活しているか、生の声を聞いて支援を行いたい」との思いから初めて参加しました。

約2時間のサロンでは、フリートークをはじめとして、別府市のヨリカンフルートアンサンブル（小野美寿々代表）4名によるミニコンサートなどが行われました。『川の流れのように』や『上を向いて歩こう』など全11曲をフルートで演奏。参加した皆さんは、フルートが奏でる優しい音色に引き込まれているようでした。

問看護ステーション代表の小野朱美さんは、あいさつのなかで「患者さんは、家族、病気、お金など、様々なことで悩みを抱えている。そんな悩みを話せる場所があればと思い、昨年の3月にこのサロンを始めた。人に話すこと、人の話を聞くことで、肩の荷がおりることがある」と話しました。

13年前に大腸がんを患ったという荒金正則さん（別府市）は2回目の参加。「退院すると悪いことばかり考えてしまう。サロンに行けば一から話さなくてもいいから気持ちが楽。参加者と話すと、自分がけじやないと思うことができると、サロンに参加して良かった」と語ってくれました。

また、安藤房代さん（別府市）

大分県の代表として
杵築速見消防組合の

選手9名が出場報告



右側から 酒井健太、清末友彦、宇留嶋雅幸、上野将史、阿部龍之介、田村隼人、八並将平、大村翔一、秋吉優亮（敬称略）

消防技術大会（九州大会・全国大会）に出場する杵築速見消防組合の職員が7月1日、役場を訪れ町長に出場報告を行いました。報告したのは、ロープブリッジ救出の部（九州大会／7月24日）と、はしご登はんの部（全国大会／8

月29日）に出場する選手9名。町長は「こういった大会に出席することは、本人の自信となる。暑い時期なので体調に十分気を付けて、県の代表として立派な成績を収めて帰ってきてほしい」と激励の言葉を贈りました。

大会に備え、出場選手たちは、当日までほぼ毎日訓練に励むそうです。

【ロープブリッジ救出の部】

* 競技説明

4人（要救助者を含む）1組で、設定された渡過ロープにより対面する塔上に進入し、要救助者を救出後、脱出するまでの安全確実性と所要時間を競う競技。

* 出場選手

▼酒井チーム

酒井健太、清末友彦、

宇留嶋雅幸、上野将史

▼阿部チーム

阿部龍之介、田村隼人、

八並将平、大村翔一

【はしご登はんの部】

* 競技説明

塔前5mからスタートし、自己確保の結果を行った後、はしごを15m登はんし、その安全性と所要時間を競う競技。

* 出場選手

（氏名は全て敬称略）

結成50周年式典開催

日出町子ども会育成会 連絡協議会



完成した会のロゴマーク

同会会長の吉田壽樹さんは「結成50周年を機に、子ども会育成会の意義と役割を再認識して、日出町の次代を担う子どもたちの育成に励みたい」とあいさつ。町長は「多くの時間を費やして、子どもたちの育成に取り組んでくれたことに感謝している」と謝辞を述べました。

会のマラソン行事がきっかけで中学の陸上部に入った。箱根駅伝、東京オリンピックに出場することを目指にして、感謝の気持ちを忘れずにこれからもがんばりたい」と話しました。

育成者へのメッセージを話した工藤郁也さん（日出中2年、豊岡第6分団子ども会出身）は「子ども会のマラソン行事がきっかけで中学の陸上部に入った。箱根駅伝、東京オリンピックに出場することを目指にして、感謝の気持ちを忘れずにこれからもがんばりたい」と話しました。

式典の後には奥野勝利さんの記念コンサートも行われ、「育成者への癒し」をテーマにした歌に観客は聴き入っていました。



代表して賞状を受け取る矢部納さん（右側）

五穀豊穣を願つて 清水地区でうどん祭り



水神祭での神事の様子

清水地区公民館（藤原赤松区）で7月5日、水神祭とうどん祭りが開催されました。これは、100年以上前から続く伝統行事で、水神の恵みに感謝し、五穀豊穣を願う祭りです。

祭りには、地区住民など関係者24名が出席。来賓として参加した町長は、「清水地区の名のとおり、清い水が流れしており、おいしいお米もできる地区。これからも懇親・交流を深めながら、この行事を続けてほしい。町としても、地域の皆さんとまちづくりを進めていきたい」とあいさつしました。神事の後、うどんやひやき（和風のホットケーキのようなもの）が振る舞われ、全員で食事をしながら歓談しました。

競技は、5日をメインに20日頃まで行われました。
競技は、5日をメインに20日頃まで行われました。
弓道競技に出場する須磨崇仁選手は、選手宣誓で「自分を信じ、選手を信じ、最後まで戦い抜くことを誓います」と決意を述べました。

県体出場をめざして 日出町選手権大会開催



選手宣誓をする須磨崇仁選手



祈願祭での神事（玉串奉奠）の様子

9月に開催される大分県民体育大会出場をめざして、第11回日出町選手権大会が7月5日、町内の各会場で開催されました。28種目の競技に、846名の選手が参加。同日に町営体育館で行われた開会式で、同大会の会長でもある町長は、「大会への参加自体がすばらしいこと。日頃、鍛えた力を十分に發揮して、町民多くの期待に添えるようがんばってほしい」と激励の言葉を贈りました。

式では、内閣総理大臣や大分県知事からのメッセージが町長に伝達され、町長は「皆さんの活動に感謝している。関係団体が一体となり、犯罪のない社会をめざしてほしい」と話しました。

式では、内閣総理大臣や大分県知事からのメッセージが町長に伝達され、町長は「皆さんの活動に感謝している。関係団体が一体となり、犯罪のない社会をめざしてほしい」と話しました。

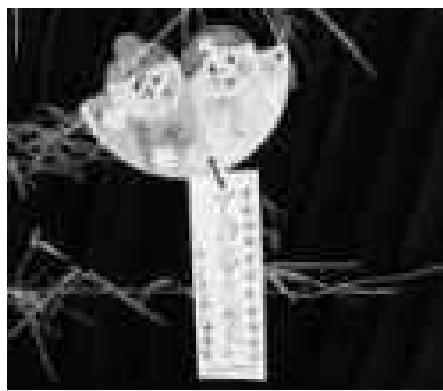
海水浴シーズン到来 糸ヶ浜海水浴場で海開き



講話をを行う衛藤忠文課長

犯罪や非行のない社会をめざし 社会を明るくする運動 メッセージ伝達式

さざんか児童館で 七夕祭り・そうめん流し



願いが叶いますように

7月4日、さざんか児童館で『七夕祭り・そうめん流し』が行われました。親子連れや子ども、地域の方々など約200名が参加。最初は、屋内での七夕祭り。児童クラブによる手話ソング『世界に一つだけの花』やボランティアによる絵本の読み聞かせ、ロケットボトルシアターなどのイベントが行われ、七夕飾りの紹介もありました。飾りの中には『アンパンマンにあいたい』というかわいらしい短冊も見られました。

屋外では、テントの下で子どもたちが学年順にそうめん流しを楽しみました。幼児親子、小学校1～3年、同じく4～6年の順番で実施。途中、上手側でそうめんを



そうめん流しを楽しむ子どもたち

『願いが叶いますように』
当曰は雨の降るなかでの開催となりましたが、子どもたちはしゃぐ声で雨音はかき消されました。

毎年このイベントに参加しているという大神小3年の辻本隼人さんは、「毎年このそうめん流しを楽しみにしている。とてもおいしかった」と笑顔で話してくれました。

子どもたちの様々な声が飛びかっていました。

毎年このイベントに参加しているという大神小3年の辻本隼人さんは、「毎年このそうめん流しを楽しみにしている。とてもおいしかった」と笑顔で話してくれました。

ほとんどの子がそうめんをほとんど取つてしまい、下手側までもそうめんが流れないといった場面も。上下の場所替えや上手側の休憩などの対応を行い、念願のそめんにありつけた子どももいました。会場内では「1本だけしか取れん」「いっぱい取れた」など、子どもたちの様々な声が飛びかっていました。

屋外では、テントの下で子どもたちが学年順にそうめん流しを楽しみました。幼児親子、小学校1～3年、同じく4～6年の順番で実施。途中、上手側でそうめんを

『まちの部活サロンオープニングフォーラム』が7月16日、中央公民館ホールで開催されました。講師は、津屋崎プランチ代表の山口覚氏。台風11号が接近中という悪天候にもかかわらず、町内外から約35名が参加。フォーラムは、山口氏の講演と参加者同士のテーブルトークの2本立てで行われました。

講演の冒頭、山口氏は「まちづくりは一人ひとりの想い、つぶやきが大事。その小さな声を拾い上げていくことが必要」と話しました。また「人とのつながりを大切にしないといけない。いかに普段から人と付き合うかが重要」と続けました。

テーブルトークは参加者4～5名で行われ、講演を聴いて感じた

『まちの部活サロンオープニングフォーラム』が7月16日、中央公民館ホールで開催されました。講師は、津屋崎プランチ代表の山口覚氏。台風11号が接近中という悪天候にもかかわらず、町内外から約35名が参加。フォーラムは、山口氏の講演と参加者同士のテーブルトークの2本立てで行われました。

講演の冒頭、山口氏は「まちづくりは一人ひとりの想い、つぶやきが大事。その小さな声を拾い上げていくことが必要」と話しました。また「人とのつながりを大切にしないといけない。いかに普段から人と付き合うかが重要」と続けました。

講演の冒頭、山口氏は「まちづくりは一人ひとりの想い、つぶやきが大事。その小さな声を拾い上げていくことが必要」と話しました。また「人とのつながりを大切にしないといけない。いかに普段から人と付き合うかが重要」と続けました。



講演を行う山口覚氏

まちの部活サロン オープニングフォーラム

人とのつながりが大切



テーブルトークの様子

『まちの部活サロン』の第1回は8月17日。興味のある方は政策推進課(☎73-3116)まで。

山口氏は、最後に「がんばつている人の芽をつぶすことはしたくなれない。大人が遊べる感覚で、楽しいことをどんどんやってほしい」とまとめ、部活サロンの発展を願っていました。

参加者の一人は「リーダーがないとまちおこしはできないんじゃないかな」と発言。山口氏は「以前は『俺に付いて来い』という父型まちづくりが主流だったが、今は『何かしたい』という人をお手伝いする母型まちづくりという形もある。どちらが正しいということはない」と従来型のリーダーがいるなくとも、まちおこしはできることを説明しました。



T-1工場跡地に企業立地 株ホツクスと立地協定締結



協定書を持つ町長と小坪社長（左側）

遊びながら減災を学ぶ 小学校へ減災かるたを寄贈



かるた取りを行う5年生

6月29日、町と株ホツクス（大神）が、役場で立地協定の調印を行いました。町内川崎の日本テキサスインスツルメンツ日出工場跡地の建物を利用した、初めての企業立地。今回立地は南棟を中心利用する予定です。

小坪睦治社長は、「顧客のニーズ拡大に対応し、新しい分野への事業拡大を行うためには、面積的な制約が出てきた。今回の立地は本社から地理的にも近い場所であり、地元への貢献も考慮して決断した」とあいさつ。

町長は、立地に対するお礼を述べた後、「町としてもできることを協力したい」と話しました。

小坪睦治社長は、「顧客のニーズ拡大に対応し、新しい分野への事業拡大を行うためには、面積的な制約が出てきた。今回の立地は本社から地理的にも近い場所であり、地元への貢献も考慮して決断した」とあいさつ。

町長は、立地に対するお礼を述べた後、「町としてもできることを協力したい」と話しました。

『遊びをとおして、災害から身を守る方法を学ぶ』ということを目的として、大分大学が作成した『減災かるた』が、大学より町内の各小学校に寄贈されました。贈呈式は6月17日、代表して日出小学校で行われました。

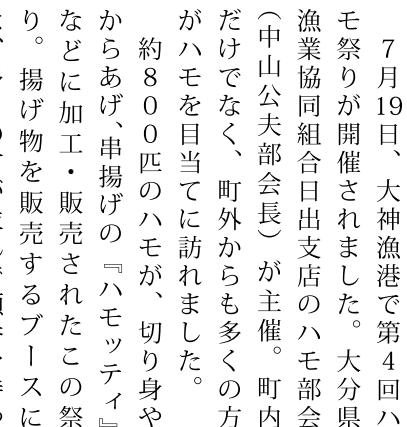
贈呈式の後、土居晴洋教育福祉科学部教授が防災について分かりやすく講話。続いて大分大学の川田菜穂子准教授が、作成した『減災かるた』について説明しました。実際に行つたかるた取りは、読み札を大学生4名で読みあげ、5年生53名が複数のグループに分かれてい行いました。

かるたを17枚取った川野未紗さんは、「いろんなかるたがあつてすごいと思った」と話してくれました。



ハモ祭り会場の様子

約800匹のハモを加工・販売 大神漁港で第4回ハモ祭り



7月19日、大神漁港で第4回ハモ祭りが開催されました。大分県漁業協同組合日出支店のハモ部会（中山公夫部会長）が主催。町内だけでなく、町外からも多くの方がハモを目当てに訪れました。

約800匹のハモが、切り身やからあげ、串揚げの『ハモッティ』などに加工・販売されたこの祭り。揚げ物を販売するブースには、多くの方が並んで順番を待っていました。

祭りの開催日を新聞で知ったといふ別府市の太田安岐子さんは、友人の平山清日さんと参加。太田さんは「第1回から毎回この祭りに参加している。今日はハモッティと切り身を買つた。切り身は東京や名古屋の友人に送りたい」と話してくれました。

3月30日に解散式を行つた『日出町豊の船の会（佐藤済江会長、会員45名）』のメンバ16名が7月9日、役場を訪れ、新図書館に設置する時計3台（柱時計1台、掛時計2台）を町に寄贈しました。これは、活動を行つている際の町の支援に対し、お礼として贈られたものです。

町長は「大変すばらしい時計を寄贈してもらい感謝している。全体のレイアウトを見て設置場所を考えたい」と話しました。

寄贈された時計3台は、交流ひろばHiCaliのオープンに合わせ、既に設置されています。

新図書館に設置を 日出町豊の船の会が 時計3台を町に寄贈



時計を寄贈した豊の船の会のメンバーと町長

常日頃から災害に備える
日出町防災会議を開催



計画の修正概要について説明を受ける委員

7月10日、日出町防災会議が役場で行われました。

会議では、委員26名の代表として、陸上自衛隊別府駐屯地第41普通科連隊第2中隊長の三重野眞治氏に、会長である町長から委嘱状が手渡されました。今年度は関係各所との連携をさらに深めるため8名の委員が増員されています。また、広島県土砂災害や御嶽山噴火を受けて修正された国や県の法律・計画に準拠するため、「日出町地域防災計画」の修正案が委員によつて協議されました。

計画には、南海トラフ地震・津波に対する実践的な備えや豪雨・火山などによる災害対策なども盛り込まれています。

7月18日、的山荘の庭園で「的山莊築100年記念・夕暮れ演奏会」が行われました。

台風一過の気持ちの良い夕暮れ時に、町内外から集まつた多くの観客は、大分県在住の兄弟ユニットbabababの演奏に大満足の様子。

**的山荘築100年記念
baobabライブ**



baobabが演奏している様子

さわやかな音楽で
初夏の夕暮れを楽しむ

長期休暇中に自主勉強
夏休み子ども教室開講式



はじめての大正琴にチャレンジ

夏休み子ども教室の開講式が7月21日、中央公民館ホールで開催されました。教室は、日出町子ども会育成会連絡協議会と中央公民館の共催で、当日は47名の児童が参加。

式では、同会会長の吉田壽樹さんが「いろんな経験をするのはすばらしいこと。教室を通じて、その経験を身につけてほしい」とあいさつしました。

キャンドル教室に参加するといふ藤原小学校4年生の渡部美玲さんは「教室がとても楽しみです」と照れながら話してくれました。

当日は、特別教室として「大正琴教室」と「避難訓練教室」が開催され、子どもたちは真剣な表情で取り組んでいました。

『浮いて待て』がおぼれない「ツ
大神中学校で着衣泳の講習



プールでラッコ浮きの練習

7月16日、大神中学校で『着衣泳及び心肺蘇生法』の講習が、全生徒を対象にして行われました。主催する大分県水難救済会が心肺蘇生法を、同会から参加要請を受けた大分着衣泳会が着衣泳の講習を担当。それぞれの会から各2名が来校し、指導を行いました。着衣泳の講習で、講師の徳永龍貴さんは「深みにはまつたらラツコのように『浮いて待て』とおぼれないためのコツを説明。また「事故を起こさないための予防」「おぼれている人を見たら、陸から助ける」など、水難に遭わないために大切なことを話しました。説明の後、生徒たちはペットボトルを使い、実際にラツコ浮きの練習などを行いました。

国重要文化財
国登録記念物

的山荘 築100年記念

現地説明会とシンポジウム

午前に行われた現地説明会には約90名が参加。栗野隆氏（東京農業大学地域環境科学部造園科学科准教授）が庭園について、三ヶ尻勝氏（町文化財保護委員会建築専門委員）が建物についてそれぞれ説明を行いました。

午後、中央公民館ホールで行われたシンポジウムには、町内外から約200名が訪れました。開会のあいさつで町長は「的山荘をはじめ、文化財への理解を深めて欲しいという思いからこのシンポジウムを開催した。今日の内容を参考にしながら、的山荘の価値・状況を再認識し、今後を見守っていただきたい」と話しました。

最初は、内田青蔵氏（神奈川大学非文書資料研究センター長、工学部建築学科教授）が『近代和風住宅と的山荘』と題して基調講演。的山荘の特徴として「近代の住宅に見られる洋風の要素が見られ

た。成清家日出別邸）築100年を記念して7月11日、現地説明会とシンポジウムが開催されました。

午前に行われた現地説明会には約90名が参加。栗野隆氏（東京農業大学地域環境科学部造園科学科准教授）が庭園について、三ヶ尻勝氏（町文化財保護委員会建築専門委員）が建物についてそれぞれ説明を行いました。

尾征司氏（生涯学習課主査）が『的山荘の造営と変遷』と題し、伊東龍一氏（熊本大学大学院自然科学研究科教授）が『的山荘—その建築の特色と価値』と題し、栗野氏が『旧成清家日出別邸（的山荘）庭園の特色と価値』と題してそれぞれ報告を行いました。



現地説明会で三ヶ尻氏の説明を聞く参加者

伊東氏をコーディネーターとしたパネルディスカッションでは、パネリストとして三ヶ尻氏、成清氏、工藤町長、内田氏、栗野氏が登壇。的山荘の歴史を振り返り、成清氏は

「山荘の歴史を振り返り、成清氏は「大手企業からの山荘を売つてほしい」という話もあつた。魅力的な金額ではあつたが、家族で協議して守れる今まで守ろうと努力してきた。苦しい期間はあつたが、町に管理してもらえるようになつて良かったと思う」と当時の苦労を話しました。これから100年に向けて、的山荘に必要なこととして、各パネリストは「皆さんに親しみをもつてもらえるような施設になつてほしい」「文化の拠点となるように活用してもらわればと思う」「多くの方の交流の拠点となるように願っている」「過去の文化が今も生きている場所として維持してほしい」「的山荘の価値・魅力が伝えられるようなガイドブックがあれば良いと思う」などと話しました。



パネルディスカッションで発言する成清氏

6月中に完了した工事をお知らせします

《問合先》
契約検査室
☎ 73-3117

6月中に完了した工事

(都市建設課分)

●平成26年度尾久保地区急傾斜地崩壊対策工事

急傾斜地の崩壊による災害を防止するため、待受擁壁（施工延長9メートル）を設置しました。

6月中に発注した工事

(都市建設課分)

●平成26年度大神小学校トイレ改修工事

校舎南館の和式便器12カ所を洋式化します。

●平成27年度町立大神中学校トイレ改修工事

本校舎と体育館の和式便器9カ所を洋式化します。

道路舗装工事

舗装の劣化が進み、通行が危険な路線の舗装工事（施工延長75メートル）を行います。

●平成27年度第一号安全施設設置工事

交通安全施設（カーブミラー3カ所、ガードレール63メートル、転落防止柵106.5メートル、区画線668.7メートル）の設置することにより、施設の使用環境向上を図ります。

●平成27年度日出中学校視聴覚室エアコン設置工事

日出中学校の視聴覚室にエアコンを設置することにより、施設の使用環境向上を図ります。

●平成27年度日出町中央体育館耐震補強工事

体育館の耐震改修工事を行います。合わせて、外壁の改修工事、多目的トイレ増築工事、機具庫増築工事も行います。

●平成27年度町道工屋線配水管布設工事

水道管整備のため、太田地区に水管の布設（施工延長179メートル）を行います。

町職員人事異動

町立図書館の開館に伴い、7月18日付けて人事異動を行いました。

※（ ）は旧職

【課長級】

▼生涯学習課長兼中央公民館長 兼
日出町立図書館長 野上悟（生涯
学習課長兼中央公民館長）▼生涯
学習課参事 兼日出町立図書館副館
長 工藤智弘（萬里図書館長）

【課長補佐級】

▼生涯学習課課長補佐兼生涯学習
修理工事係長 兼スポーツ振興係長 藤本周
司（生涯学習課課長補佐兼スporte
ツ振興係長）

【係長級】

▼日出町立図書館管理指導係長 兼
奉仕資料係長 芝尾文徳（生涯学
習課生涯学習係長）

宝くじ助成事業で太鼓を購入



購入した太鼓とバチ

川崎辻の尾区（清永勇蔵区長）が、一般コミュニティ助成事業を活用し、地区行事で使用する太鼓などを購入しました。

この事業は、宝くじ収益金を財源として、地域コミュニティの活性化を目的に財自治総合センターが行う、宝くじ普及広報事業です。

辻の尾区では、様々な区の行事を通じて、地域の活性化や区民の親睦を図っていますが、今回この事業を機に、より一層親睦が深まることが期待されています。



民生委員・児童委員は、あなた の一番身近な相談員です



(前列左から) 赤山清子さん、秋吉和子さん
(後列左から) 酒井保彦さん、後藤忠義さん、
角野真理子さん

民生委員・児童委員は、悩みごとを抱えて困っている方の良き相談相手となり、地域福祉のため日夜活動しています。お困りの方は、お住まいの地区の担当を下記名簿でご確認のうえ、ご相談ください。なお、住所や連絡先については、福祉対策課（☎ 73-3121）へお尋ねください。

新しく5名が委嘱されました

『大分県民生委員の定数に関する条例』

の制定により、日出町では新たに民生委員・児童委員の定数が6名増員となりました。これに伴い、4月より5名の新任民生委員（左記写真）が誕生しました。

民生委員・児童委員名簿（平成27年4月1日現在）

地区	担当地区	委員氏名
南端	目刈・高平	是永正廣
	薄尾・今畑・柏川	北野隆則
豊岡	太田	後藤公子 後藤忠義
	是城	廣瀬ミドリ
	上の原・宮の下・長野	木下静子
	中の二・影の木	有徳慶子
	中の三	坪田京子
	法花寺・西の一	河野美千子
	西の二・西の三	宇都宮敬
	西区・新町	加藤千恵子
	本町・仲町	脇賀依子
	小浦・影平	古田徳子
日出	団地東・団地北	西津典子
	団地西・団地南	安部哲郎
藤原	南浜	南波弘通
	北浜	合原英一
	若宮・下町	富末好明
	本町	森永祥子
	中央	藤井剛郎
	八日市・西八日市	脇口芳子
	佐尾	大塚妙子 赤山清子
	上仁王	阿部浩子 角野真理子
	東仁王	宮垣裕子
	堀・内堀	工藤良一
	日出団地	岩崎初代
	東部	河野澄子
	南部	糸長好美
	西部	手嶋久 堀素子

地区	担当地区	委員氏名
藤原	中部	伊藤薫
	一北	神田英巳
	赤松	木付孝一
	自然郷	前田知子
川崎	宗行	酒井壯六
	則次	工藤國男 秋吉和子
	辻の尾	中村禮子
	成行	塩内公子
	千騎・大峯	徳久タカ
	平原・東小深江	阿部サエ子
	西小深江・青津山	白水孝 吉良嘉樹
	内野	手嶋賢一 酒井保彦
	北大神	小石敏子
	南大神・後村	垣迫千代子
大神	中村・中央	木田公子
	三尺山・上深江	平本禮子
	高尾・日々の浦	河野英就
	港	北野暉彦
	牧の内・軒の井	阿南佳代子
	原山・小出原	松本真紀子
	片原津	三浦美知子
	照川	久保田昭仁
	真那井	小石英介
	八代	工藤洋一郎
主任児童委員	南端・豊岡	阿南裕子
	日出	安倍啓子
	藤原	小原京子
	川崎	安部和子
	大神	白水伊保子

▼水は限りある貴重な資源です

8月1～7日は「水の週間」

水は私たちの毎日の暮らしや、農業、工業などの産業活動、経済活動を支える貴重な資源です。また、水がつくりだす豊かで潤いのある環境は、私たちの心にゆとりや安らぎを与えてくれます。この機会に、水資源の有限性、水の貴重さ、および水資源開発の重要性について考えてみましょう。

▼下水道排水設備工事 責任技術者共通試験

■日時 10月25日（日）9時45分～12時

■場所 ホルトホール大分
■受講資格 試験日において満20歳以上で、次のいずれかに該当する方。

①高等学校を卒業し、排水設備工事などの設計または施工の実務経験（土木、建築、設備、衛生工学科などを卒業した方は不要、その他の方は1年）を有する方

②排水設備工事などの設計または施工に関し、2年以上の実務経験を有する方

③専修学校などにおいて土木過程を修了した方、および公共職業能力開発施設において配管科を修了した方

④農業集落排水施設などの設計または施工の実務経験（高等学校を卒業した方は1年、その他の方は2年）を有する方

■受付期間 9月1日（火）～11日（金）

■受験手数料 5000円
(受験申込者が事前に振替払込書にて個人別に払込みます)

■受験申込書 上下水道課下水道管理係で配布

■申込・問合先 上下水道課下水道管理係

☎ 73-3124

▼下水道排水設備工事 責任技術者更新講習

■日時 10月25日（日）9時45分～12時

■場所 ホルトホール大分
■受講資格 試験日において満20歳以上で、次のいずれかに該当する方。

*予備日 11月15日（日）
9時30分～11時30分
■場所 別府市役所4階4F～3会議室
*予備日の場合 大分市役所大分市庁舎城崎分館3階大会議室

調査』でも、『同和問題として現在起きていること』として、『結婚に反対されること』を選んだ人が51%ありました。

同和問題は、過去の課題ではなく、人権にかかわるあらゆる問題の解決につながる、広がりをもつた現実の課題です。

8月は『差別をなくす運動月間』です

『大漁』 金子みすゞ

朝焼 小焼だ
大漁だ
大羽いわし
大漁だ

浜は祭りの
ようだけど
海のなかでは
何万の
鰯のとむらい
するだろう

童謡詩人金子みすゞの作品に、『大漁』という詩があります。

自分以外の世界にも思いを馳せ、弱者や小さきものへも目を向けようとするみすゞの思いが伝わってきます。言うまでもなく、私たちは様々な人とかかわって生きています。

自分を含め、一人ひとりがかけがえのないのちであり、いきいきと生きる権利を持っています。
しかしながら、私たちの周りには、様々な人権問題があります。

とりわけ、特定の地域出身であることや、そこに住んでいることを理由に結婚や就職時に差別的な扱いを受ける理不尽な人権問題が今なお根強く残っています。この日本固有の差別が同和問題であり、解決すべき今日の大きな人権課題です。平成25年の『人権に関する県民意識

この『基本計画』では、『住民一人ひとりが互いに人権を尊重し合い、共に生きる喜びを実感できる地域社会の実現』を基本目標として、同和問題を重要課題に掲げて、教育や啓発を進めています。

町では『差別をなくす運動月間』に講演会を毎年実施しています。今年も左記のように実施しますので多数のご参加をお待ちしています。

人権講演会のご案内 『人権つて誰のためのものですか』

○日時 8月24日（月）

○場所 中央公民館
稻穂謙次郎氏

○講演者 住民課
○問合先 住民課
☎ 73-3122

町税等夜間相談窓口

「昼間仕事などで役場に行けない」などお困りの方は、納付や納税相談ご利用ください。電話での相談も受け付けます。

【期間】

8月24日（月）～28日（金）

【時間】

17時30分～20時30分

【場所】

役場新館1階税務課

【問合先】

税務課収納係 ☎73-3123



▼敬老（喜寿・米寿）のお祝いについて

町では、多年にわたり社会に貢献された方々を敬愛し、長寿をお祝いしています。

- 申込書 福祉対策課障害福祉係
- 11月26日（木）～30日（月）

本年度は、大分県と市町村の連携による地方税徴収強化対策を実施しており、日出町に7月1日付で県税務職員が派遣されました。この制度は、個人住民税などの収入確保を図り、併せて町税務職員の滞納整理の技術向上を目的としています。

▼町税の徴収に大分県職員が派遣

- 受講料 8月3日（月）～14日（金）
受講手数料 3000円
- 申込・問合先 上下水道課下水道管理係
☎ 73-3124

受講対象者 平成28年3月31日が有効期限の方で、現在登録者名簿に登録されている方

■受付期間

8月3日（月）～14日（金）

- 問合先 税務課収納係
☎ 73-3123

町では、3月末まで大分県税務所特別滞納整理班とともに、滞納整理などを実施します。

▼あき地は、その所有者（管理者）が管理しなければなりません

管理を怠ると雑草や樹木が繁茂し、近隣の方々に不快感を与え、害虫の発生する原因になります。また、ごみの不法投棄・火災誘発あき地の適正な管理をお願いします。

■あき地管理に関する問合先

- 生活環境課 ☎73-3128

川崎小学校の少人数教室を共用して、放課後子ども教室と連携した新たな放課後児童クラブを開設します。

- 子育て支援に熱心な方でご協力いただける方の応募をお待ちしています。
- 川崎小学校の少人数教室を共用して、放課後子ども教室と連携した新たな放課後児童クラブを開設します。

- 喜寿（77歳） 昭和12年10月1日～昭和13年9月30日生まれの方
- 米寿（88歳） 大正15年10月1日～昭和2年9月30日生まれの方

▼放課後児童クラブ指導員を募集します

祝いするため、お祝い品をお贈りしています。

■今年度の対象者

- 応募資格
 - ① 健康で子育て支援に熱意のある方
 - ② 年齢不問
 - ③ 資格不問（ただし保育士などの有資格者優遇あり）
- 勤務時間
 - 募集人数 2～3名程度
 - 勤務日数 週3～4日
- 平日 放課後から18時までの4時間程度
- 長期休暇中 8時から18時までの時間帯で5時間程度
- 時給 700円
- 問合先 福祉対策課地域福祉係
☎ 73-3121

▼感動を集める作品を『ときめき作品展』作品募集

県内の障がいのある方を対象に作品を募集します。たくさんの申込をお待ちしています。

- 募集作品 絵画・工芸・写真・書・陶芸・合作
- 展示会場 オアシスひろば21アトリウムプラザ（大分市）
- 展示期間 11月26日（木）～30日（月）

ページからもダウンロードできます)。

■申込期間

8月3日(月)～31日(月)

■問合先

福祉対策課障害福祉係

☎73-3126

▼議会基本条例住民説明会

皆さんのご意見を議会へお聞かせください。多数のご来場をお待ちしております。

■日時

8月26日(水)19時

■場所

中央公民館ホール

■問合先

議会事務局

☎73-3135

▼小学校入学に向けた
教育相談会

平成28年度に小学校入学予定で、障がいなどにより心配や不安のあるお子さんの教育相談会を行います。

費用は無料で、個別に実施します。

■日程

9月下旬を予定

■場所

中央公民館

■対象者

平成28年度小学校入学予定で、障がいのある児童や発達段階に不安のある児童の保護者または関係者

相談員 県教育委員会の派遣す

*郵送の場合 9月4日(金)

(土日を除く)

月4日(金) 8時30分～17時

る相談員および町教育委員会指導主事

■申込期限

8月14日(金)

■申込・問合先

教育委員会学校教育課

☎73-3171

▼杵築速見消防組合職員募集

■採用予定数 消防職員5名程度(うち、救急救命士取得者含む若干名)

■受験資格

○平成2年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた方

○採用後、業務の都合上、管内(杵築市・日出町)に居住できる方

○高等学校卒業程度の学力を有する方

○日本国籍を有する方

○地方公務員法第16条に該当しない方

■身体条件 視力両眼とも0.5以上、または矯正視力が1.0以上で聴力・色覚・四肢いずれも正常な方

■免許 第1種普通免許(A.T限定除く)を取得している方または採用時までに取得見込みの方

■受付期間 8月10日(月)～9月4日(金) 8時30分～17時

(土日を除く)

毎年、暑い時期になると、車内に放置された子どもが熱中症で亡くなる事故が発生しています。

短時間であっても、車内は50度以上の高温になり、子どもの命に達する方がいない場合は採用しないことがあります。

■問合先

杵築速見消防組合消防本部

☎0978-62-4334

▼2015ひじ文化まつり
美術作品展 出展者募集

■日時 10月31日(土)～11月1日(日) 9時～16時

■会場 中央体育館

■展示資格 日出町民(町内で活動していれば、町外の方も可)

■応募方法 中央公民館に備え付けの申請書を窓口まで持参するか、郵送またはFAXで提出

■申込締切 9月4日(金)

■申込・問合先 実行委員会事務局(生涯学習課)

幼い命を車内放置事故から守りましょう!

毎年、暑い時期になると、車内に放置された子どもが熱中症で亡くなる事故が発生しています。

短時間であっても、車内は50度以上の高温になり、子どもの命に達する方がいない場合は採用しないことがあります。

このような状況に子どもを放置することは『児童虐待』に該当するとしています。

悲しい事故を防ぐため、子どもたちの車内放置は絶対にやめましょう。



■問合先

福祉対策課子育て支援係

☎73-3121

田 政

日出町長 工藤 義見

日出は速見郡主要8地区の中心地

日出町は自立、活力、発展の町政をめざして諸施策を推進し、地勢、自然環境、文化遺産を活かした町づくりに取り組んできました。しかし、自分たちの住んでいる日出地方が明治時代にはどのような地域特性、役割を担っていたのか、また、どのような変遷をたどったのかを知らなければ地域づくりはできません。

そこで本誌、平成24年2月、第60号で、『100年ほど前の日出町はどんな所』と題して記事を書き、歴史の推移を参考にしながら地域を考えてきました。その取り組みが少しずつ具具体化し、新しい街並みとなってきたのでその一部を再度記すことにします。

当時、東京在住の日出町出身者が集う『暁谷会』と、明治34年12月3日に発行された会報、『暁谷雑誌』

だより

再び周辺地域の中核的な町へ

第4号の記事を紹介しました。その論説の中に、速見郡の金融情態に就いてといった記述があり、『速見郡は、大分県において尤も多くの市街地を有する郡である。即ち浜脇、別府、亀川、豊岡、日出、杵築、下市、立石と市街地が8ヶ所、其の外に市街が23ヶ所もあるが、その配置は甚だ都合よく（中略）。別府、浜脇は郡の南端にあつて温泉なる天下無類の泉穴を有し、今や非常の勢力を持つて進歩発達しつつある。それより北進2里にして亀川、是も四方に明礬、鉄輪等の温泉地をたずさえて居る（中略）。

それよりまた北進1里で豊岡、ここは豊前地方よりの出荷米の多きこと、人出の多きは殆ど意外にして随分金の儲かる処である。彼の郡内第一の富豪原大三郎氏の如きは此の地の人である。今やこれら有力家の尽力で益々繁栄。

それより東北1里、ここは即ち郡の中央にあたる日出町である。この日出町は郡の中央と言うのみならず県の中央に位し、天然の良港を有し海陸運搬の便を有し、九州南海岸に於いて将来商業地として大いに雄飛する地勢を自ら備えて、益々繁栄に向かいつつある（一部加筆修正）

と述べられており、統いて杵築、下市、立石の各地域がそれぞれ繁栄している様子が記載されています。

近年、先達の尽力により豊岡・日立

日出町は速見郡の中央にあたる町には、大分県において尤も多くの市街地を有する郡である。即ち浜脇、別府、亀川、豊岡、日出、杵築、下市、立石と市街地が8ヶ所、其の外に市街が23ヶ所もあるが、その配置は甚だ都合よく（中略）。別府、浜脇は郡の南端にあつて温泉なる天下無類の泉穴を有し、今や非常の勢力を持つて進歩発達しつつある。それより北進2里にして亀川、是も四方に明礬、鉄輪等の温泉地をたずさえて居る（中略）。

それよりまた北進1里で豊岡、ここは豊前地方よりの出荷米の多きこと、人出の多きは殆ど意外にして随分金の儲かる処である。彼の郡内第一の富豪原大三郎氏の如きは此の地の人である。今やこれら有力家の尽力で益々繁栄。

それより東北1里、ここは即ち郡の中央にあたる日出町である。この日出町は郡の中央と言ふのみならず県の中央に位し、天然の良港を有し海陸運搬の便を有し、九州南海岸に於いて将来商業地として大いに雄飛する地勢を自ら備えて、益々繁栄に向かいつつある（一部加筆修正）と述べられており、統いて杵築、下市、立石の各地域がそれぞれ繁栄している様子が記載されています。

今後、地方創生事業にも取り組み、日出町もこの平成の時代に今一度、将来と次世代のために、国東半島周辺地域の主要な町としてさらに飛躍を期したいものです。

日出町は速見郡の中央にあたる町であり、益々繁栄に向かいつつあると記され、また、郡の中央と言うのみならず大分県の中央に位し、天然の良港を有し、海陸運搬の便を有し、九州南海岸に於いて将来商業地として大いに雄飛する地勢を自ら備えており、行財政改革と共に積極的に町づくりを進め、生活基盤の整備などに力を注ぎ、中心市街地活性化構想のもとに、二の丸館、裏門櫓、裏門、鬼門櫓（隅櫓）、致道館など日出城址周辺整備を行つてきました。

衰退傾向の日出町を開拓するためには、行政改革と共に積極的に町づくりを進め、生活基盤の整備などに力を注ぎ、中心市街地活性化構想のもとに、二の丸館、裏門櫓、裏門、鬼門櫓（隅櫓）、致道館など日出城址周辺整備を行つてきました。

また、市街地形成事業として高校跡地周辺で家電量販店、ホテル、商業施設の誘致を行い、そしてこの度『交流ひろば H i C a L i』内に多目的エリアと町立図書館を開館するなど、賑わいの場づくりも進んでいます。

初代の成清博愛氏は大正4年に的山莊を開き、同5年、佐賀間に精錬所を誘致。2代信愛氏は運輸、金融、経済界で大いに活躍し、日出小学校前には県下の著名人によって顕彰記念碑が設置されています。

しかし、時の経過と共に大分市や別府市が発展し、日出町の存在感は薄れ気味となり、法務局、税務署、県事務所など国県の行政機関は他市に移転し、現在では、警察署、県立高校のみとなっています。

今後、地方創生事業にも取り組み、日出町もこの平成の時代に今一度、将来と次世代のために、国東半島周辺地域の主要な町としてさらに飛躍を期したいものです。

開通し、これまでの馬車による馬上金山からの金鉱石運搬が、立石駅から日出駅への鉄道輸送に変わり、日出港から盛んに積み出されました。以降、大正、昭和にかけても隆盛を極め、賑わいをみせていました。

明治43年3月に日出駅まで鉄道が

開通し、これまでの馬車による馬上

金山からの金鉱石運搬が、立石駅か

ら日出駅への鉄道輸送に変わり、日

出港から盛んに積み出されました。

以降、大正、昭和にかけても隆盛を

極め、賑わいをみせていました。

初代の成清博愛氏は大正4年に的

山莊を開き、同5年、佐賀間に精錬

所を誘致。2代信愛氏は運輸、金融、

経済界で大いに活躍し、日出小学校

前には県下の著名人によって顕彰記

念碑が設置されています。

しかし、時の経過と共に大分市や

別府市が発展し、日出町の存在感は

薄れ気味となり、法務局、税務署、

県事務所など国県の行政機関は他市

に移転し、現在では、警察署、県立

高校のみとなっています。

近年、先達の尽力により豊岡・日立

高校のみとなっています。

今後、地方創生事業にも取り組み、

日出町もこの平成の時代に今一度、

将来と次世代のために、国東半島周

辺地域の主要な町としてさらに飛躍

を期したいものです。

（次号につづく）

教育委員会だより

土曜子ども教室開校



新しい友だちや地域の方々と元気に学習

7月4日、中央公民館で『土曜子ども教室』の開校式が行われました。当日は、町内の小学校を通じて応募のあつた、小学4年生から6年生までの30名全員が参加。開校式では、参加児童を代表して、日出小学校6年生の渡辺綾乃さんが「今からとても楽しみ。ボランティアの方々に感謝するともに、新しい友だちとも交流を深め、充実した8日間にしたい」と

地域の力で子どもたちを見守る
放課後の時間帯を中心として、地区公民館や自治公民館で、子どもたちが学習や体験活動を行っています。
これは、地域の方々が企画し、その先生となる取り組みです。子

学校・家庭・地域が連携・協力しながら、社会総掛かりで教育に取り組む仕組みづくりを推進することです。その実現のため、教育委員会が今年度はじめて企画しました。

学校とは違う土曜日ならではの環境の中での基礎・基本の定着を図り、地域の方々の協力を得ながら、補充学習や多様な体験活動を来年2月まで、計8回（月1回）実施します。

教室では今後、町内の方々を講師に迎え、歴史教室や茶道教室、料理教室に取り組んでいきます。

話しました。

開校式の後は、初日の教室がスタート。前半は、算数ドリルを使つた補充学習。後半は、ジュニア・リーダーの指導によるレクリエーション教室を行いました。

土曜子ども教室開校の目的は、豊富な学習・地域が連携・協力しながら、社会総掛かりで教育に取り組む仕組みづくりを推進することです。その実現のため、教育委員会が今年度はじめて企画しました。

学校とは違う土曜日ならではの環境の中での基礎・基本の定着を図り、地域の方々の協力を得ながら、補充学習や多様な体験活動を来年2月まで、計8回（月1回）実施します。

平成16年に豊岡地区公民館開放事業としてスタートしました。

放課後と夏休みに、豊岡地区公民館で、小学生が各種活動を行っています。

豊岡放課後子ども教室



豊岡放課後子ども教室

毎月第2水曜日の放課後、八日市区自治公民館で、日出中央区・八日市区・西八日市区の3地区的幼稚園児から小学生が、学習や各種活動を行っています。

放課後子ども教室 つなごう会



川崎つ子公民館クラブ



放課後子ども教室 つなごう会



児童扶養手当・特別児童扶養手当・
ひとり親家庭等医療費助成
現況届の提出をお願いします

届出が必要な方には、7月末に案内文書を発送していますので、下記の期間中に届出をお願いします。

なお、期間中に届出がない場合には、手当を受給できなくなり、また、助成を受けられなくなることがありますので、ご注意ください。

【届出期間】 ①児童扶養手当・ひとり親家庭等医療費

8月3日（月）～21日（金）8時30分～17時
(土日を除く)

②特別児童扶養手当

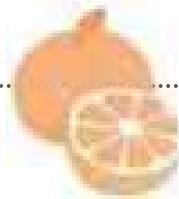
8月11日（火）～28日（金）8時30分～17時
(土日を除く)

☆①②休日受付 8月16日（日）8時30分～17時

【受付場所】 役場旧館1階 福祉対策課 子育て支援係

■問合先 福祉対策課 子育て支援係 ☎ 73-3121

**オレンジカフェ
ひとやすみ**



認知症の方とその家族の方々との交流を図り、支援へつなぐ中心的な相談窓口です。毎月第2、第4水曜日に開催しています。

*登録制ですので、前日までに地域包括支援センターまでご予約ください。

①日時：8月12日（水）10時～12時

場所：深見記念館（二の丸館横）

②日時：8月26日（水）10時～12時

場所：川崎ふれあいセンター

■予約・問合先 地域包括支援センター ☎ 73-3115

児童心理士による児童相談

子どもの発達や子育てに関する悩みなどの相談会を毎月行っています。
今月は下記のとおり実施します。児童心理士に悩みを話してみませんか。

◇場所 役場旧館1階 福祉対策課 子育て支援係

◇日時 8月7日・21日（金）9時～15時（完全予約制）

*すでに予約が入っている場合は、次回以降の日時をご案内いたします。

■予約・問合先 福祉対策課 子育て支援係 ☎ 73-3121

健 康 子 育 て

8月の休日当番医

健康増進課 ☎ 73-3130

*診療時間 9時～17時

*町報発行後に休日当番医が変更になる場合があります。各医療機関や健康増進課にご確認ください。

8月の休日当番医

2日 真那井診療所	72-5270
9日 酒井医院	72-2624
16日 日出児玉病院	72-2724
23日 サンライズ酒井病院	72-2266
30日 鈴木病院	73-2131

9月の休日当番医

6日 大石内科医院	72-2121
13日 岡田内科クリニック	28-0101
20日 日出中央医院	72-2534
21日 日出児玉病院	72-2724
22日 サンライズ酒井病院	72-2266
23日 鈴木病院	73-2131
27日 八重眼科医院	73-1221

「こころの相談会」

相談は無料。秘密は厳守します。
日出町に住民票がある方に限りま
す。完全予約制の個別相談（1時
間程度）です。相談日の2日前ま
でにお申し込みください。

■日時

8月10日（月）、9月14日（月）
9時～12時、13時～16時

■場所 保健福祉センター

■申込・問合先

福祉対策課障害福祉係

☎ 73-3126

- ひじハピ『わくわく交換会』(子育て中ママ・申込8月6日～) 19日(水) 10時30分～12時
- たのしい絵本読み聞かせ(乳幼児) 21日(金) 11時15分～11時45分
- WAKUWAKUつみきくらぶ 26日(水) 10時30分～12時

日出町児童館 ☎ 85 - 8820

下記夏休み行事は、往復はがきによる申込が必要です。詳細は「ひじまちじどうかんだより」をご覧になるか、児童館までお問い合わせください。
①参加人数 ②講師（協力者）

- かいわれ大根をつくろう（小学1～3年生・300円・①10名・②自然農法文化事業団村口氏）11日(火)10時～12時
- かいわれ大根を観察しよう（4～6年生・300円・①10名・②自然農法文化事業団村口氏）11日(火)13時30分～15時
- フラワーアレンジメント講座（500円・①20名・②EFD連盟認定講師前田氏）18日（火）13時30分～15時
- わくわく工作（①20名・②くるんぱの会立川氏）20日(木)13時30分～15時
- ちょっとミュージカル2015（小学生・①20名・②G-Project佐藤氏）28日(金)・29日(土) 10時～16時30分

さざんか児童館 ☎ 72 - 8383

- 赤ちゃん広場（0歳児・要申込・200円）3日（月）10時30分～
- エアロビクス（親子で参加可・要申込・600円）6日・20日（木）11時～12時
- 絵本の読み聞かせ（小学生）8日（土）10時30分～
- 人形劇（小学生）11日（火）13時～14時
- すくすく☆成長の記録 24日（月）10時～12時
- 遊ぼう！げんキッズ～水遊び～ 27日（木）10時～12時
- 巡回児童館（スマイル子育て相談会）31日(月)10時30分～（中央公民館）
- 親子グループ活動 10時30分～
 - 0～1歳児 5日・19日・26日（水）
 - 2歳児 10日(月)・17日(月)・21日(金)
 - 3～5歳児 4日・18日・25日（火）

保健福祉センター・ 日出町児童館より休館のお知らせ

①保健福祉センター

8月15日(土)13時から16日(日)まで、保健福祉センターの特別清掃を行います。

- ・8月15日(土)13時以降は、トレーニングルームのみ利用できます。
- ・8月16日(日)は、全館休館とさせていただきます。

②日出町児童館

8月13日(木)から15日(土)まで、館内清掃と設備点検などのため休館いたします。なお、地域子育て支援センターHUGくみは、通常どおり開設しています。

ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

■申込・問合先 福祉対策課 ☎ 73-3121

夏休み福祉体験のお知らせ

UD（ユニバーサルデザイン）夏休みふれあい福祉体験 ～障がいのある人の生活を知ろう＆木工ワークショップ～

申込が必要です。詳しくは、日出町児童館までお問い合わせください。

◆開催日	8月18日(火)
◆受付	9時30分～
◆開始	10時～（閉会式15時～）
◆場所	保健福祉センター
◆参加対象	町内の小学生（1年生～6年生）
◆参加人数	20名
◆持ち物	水筒・タオル
◆主催	カレイなる日出町母親クラブらんらん♪
■問合先	日出町児童館 ☎ 85-8820

離乳食教室

離乳食に関する相談や、試食などを行う教室を開催します。

「どうやって離乳食を始めたらいいの？」「離乳食の進め方がわからない」といった方は、この機会にお子さんと一緒に参加してみてください。前回に引き続いての参加もお待ちしています。

*申し込みは不要です。

*スプーンは準備していますが、使い慣れたスプーンやエプロンが必要な方はご準備ください。

■日時 9月8日(火)10時30分～11時30分

*開始5分前までにお越しください。

■場所 保健福祉センター 母子保健室

■対象 離乳食期（1歳6ヶ月頃まで）

■問合先 福祉対策課 子育て支援係 ☎ 73-3121

入場無料

日出町創生関連事業（イノベータ養成講座）

『まちづくり懇談会』を開催します

講 師：柳澤 龍 氏（コミュニティ・オーガナイザー）

演 題：イノベーターの土壤を耕す～コラボレーションを生むつながり作り～

日 時：8月28日（金）18時30分～

場 所：交流ひろば HiCaLi 多目的室

秋田県五城目町で6次産業化支援と雇用創造などの活動を行い、町に活力をもたらす地域おこし協力隊として活躍中の柳澤氏をファシリテーターに招いて、『地域おこし協力隊の役割』や『地域で若者を受け入れることの必要性』など、まちづくりに関する話をみんなで話してみませんか。

■問合先 政策推進課 ☎ 73-3116



『漁船タクシー』モニター募集中!!

■日 程 6:45 西大分港 ⇒ 7:30 大神漁港
12:00 大神漁港 ⇒ 12:45 西大分港

■見学先 大神漁港朝市・漁師体験・回天基地跡見学など

開催日：8月29日（土）

集合場所：西大分港（かんたん港園）

参 加 費：2,000円（往復）

申込締切：8月21日（金）

申込・問合先：政策推進課

☎ 73-3116

大分のキリストン・南蛮文化を 巡る日帰りバスツアー

県内の7市町（国東市・日出町・大分市・臼杵市・津久見市・竹田市・由布市）が提携し、キリストン・南蛮文化交流協定協議会を組織しています。この協議会に、オブザーバーとしてJR九州大分支社を迎え、『大分のキリストン・南蛮文化を巡るツアー』を開催します。

出発日は決まっていません。詳細については、町ホームページをご確認いただき、参加を希望される方は、下記までお申し込みください。

■コース ①由布 ②竹田 ③大分 ④日出
⑤臼杵 ⑥国東 ⑦津久見

■旅行代金 4,500円（税込）

■申込期限 各コース1週間前まで受付（先着順）

■集合解散場所 JR大分駅

■申込・問合先

JR九州旅行大分支店 ☎ 097-537-9362

■問合先 生涯学習課 ☎ 73-3156

日出町空き店舗助成事業 ～企画提案書受付中～

堀地区から八日市地区に至る商店街で、空き店舗などをを利用して新規出店（小売業、飲食サービス業など）する方に対し、必要な資金の一部を助成します。

助成を受けるには、参加表明書や企画提案書の提出が必要で、対象者は書類審査と二次審査（プレゼンテーション）により選定されます。詳細は、町ホームページでご確認いただき、ご不明な点は担当課へお問い合わせください。

■補助対象経費

補助対象 経費	補助 率	補助限度額 (千円未満切り捨て)	補助する時期
店舗改装 費など	1/2	100万円	実績報告書 提出後
店舗 賃借料	1/2	2万円（月額） 12カ月限度	事業開始後、 3カ月毎に交付

■応募期限 8月31日（月）

■応募・問合先 商工観光課 ☎ 73-3158

●行政相談

場 所 役場新館 3階 333会議室
日 時 8月4日(火) 10時~15時
 9月1日(火) 10時~15時
問合先 総務課 ☎ 73-3150

●心配ごと相談

場 所 役場新館 3階 333会議室
日 時 8月11日(火) 10時~15時
 9月8日(火) 10時~15時
問合先 福祉対策課 ☎ 73-3121

●なんでも相談

場 所 役場新館 1階
問合先 なんでも相談室 ☎ 73-3118

●障がい児・者等支援相談

相談先 社会福祉法人「みのり村」
 みのり障がい者生活支援センター
 ☎ 75-7020
相談先 児童発達支援センター「プリンちゃん」
 ☎ 28-0250

●障がい児・者生活支援相談

相談先 太陽の家障害者生活支援センター
 ☎ 72-1682
 (受付時間: 8時~17時)

●高齢者総合相談

相談先 地域包括支援センター
 (健康増進課内) ☎ 73-3115

●家庭児童・母子婦人相談

相談先 福祉対策課 ☎ 73-3121

●いつでも子育てほっとライン

相談ダイヤル ☎ 0120-462-110
 (24時間 365日受付)

●無料人権相談所

相談先 大分地方法務局杵築支局
 ☎ 0978-62-2271
 なびダイヤル ☎ 0570-003-110

●法律相談 (要予約)

日 時 第2火曜(保健福祉センター)
 第4火曜(役場 333会議室)
 ※祝日の場合は休み
 13時30分~16時30分
費 用 30分につき5,000円
 ※収入が一定以下の方及び多重債務の相談は無料
申込・問合先 大分県弁護士会
 ☎ 097-536-1458

■今月の休館日

3日(月)・10日(月)・17日(月)・24日(月)・31日(月)

■読み聞かせ(おはなしのへやで開催)

○ブーフーによる読み聞かせ

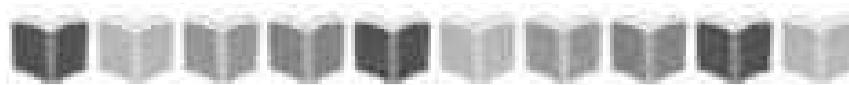
日時: 8月8日(土) 10時30分~11時30分

対象: 4歳~小学校低学年くらい

○FUMFUM(ふむふむ)による読み聞かせ

日時: 8月22日(土) 11時~11時30分

対象: 0歳~5歳くらい



新刊案内



『夏のルール』

ショーン・タン：著 河出書房新社：刊
 ぼくとお兄ちゃんの、夏のルール。「赤い靴下を片方だけ干しちゃなにしないこと」「合言葉を忘れないこと」—。意味の分からないルールなら、なおさら約束は守ること。でないと…。ショーン・タンが贈る、夏のものがたり。



『ダメ親と呼ばれても学年ビリの3人の子どもを信じてどん底家族を再生させた母の話』ああちゃん・さやか(ビリギャル)：著 KADOKAWA：刊

学年ビリから難関大学に合格した姉妹、自暴自棄から立ち直った長男。その背景にあった、母親の信念と改心とは? “ビリギャル”さやかの母“ああちゃん”が、自身の子育て法と体験を語る。さやか目線のストーリーも収録。



『おにぎらずの本』

オガワチエコ：著 泰文堂：刊
 手間いらず、おいしい、超カンタン。いいことづくめのおにぎらず、さっそく作ってみませんか? 基本、ご飯と具、焼のりで作る“にぎらないおにぎり”、おにぎらずのレシピを紹介します。



『50代から楽しむ iPad』馬場寿実：著 (株)地球丸：刊

中高年の方に向けたiPadの本。操作の基本と、役立つと思われるアプリの使い方を、丁寧にわかりやすく解説。iPadを使って生き生きと暮らしている中高年の方のインタビューも多数掲載。iOS 8.1 対応。

募集

新規大卒者等&U・イター ン希望者面接会

夏休み帰省中に、ぜひご参加ください。事前申込不要です。

▼日時 8月13日(木) 13時～16時

▼場所 トキハ会館

▼対象 来春卒業予定の大

学院・大学・短大・高専・
専修学校の学生(大学既
卒3年以内の方を含む)、
U・Iターン希望者(県

外在住者)

▼参加費 無料

▼問合先 ハローワーク大
分OASISひろば21

▼職業相談窓口

▼U・Iターン希望者(県
外在住者)の問合先

おおいた産業人財センター
☎ 097-533-8600

大分県U・Iターン
集中相談会

▼日時 8月14日(金)
15日(土) 10時～18時

用予定。
①警察官A(大卒)採用試
験(チャレンジ枠)
男性9名、女性2名を探

○県人事委員会
▼問合先
②研究員(金属・材料工学、

付や各警察署で配布しま
す。詳細は、『受験案内』
でご確認ください。
①警察官A(大卒)採用試
験(チャレンジ枠)
男性9名、女性2名を探



日出児玉病院
TEL 0977-72-2724

■内科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科

■外科・消化器外科・整形外科・リハビリテーション科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30~12:00(水・土は12:30)	●	●	●	●	●	●	×
13:00~17:00	●	●	×	●	●	×	×

■特定健診のご案内

4月から日出町の特定健診が始まっています。病気予防の観点からも、1年に1度は健診をうけましょう。当院では、基本検査以外にも様々なオプション検査もご用意しておりますので、詳しい内容につきましては診療時間内にお問い合わせ下さい。(健診専用電話番号: 0977-75-6677)

また、毎週木曜日は女性医師による診察・検査(胃・十二指腸・大腸内視鏡)となっております。

由布合成化学株式会社

★事業内容:精密部品の組立検査

従業員募集♪

★就業時間: 8:00~17:30

★夜勤交替勤務あり: 19:30~(翌朝) 5:00

★契約社員募集中: 半年毎の更新(正社員登用制度あり)

★時給: 800円~各種保険完備、厚生・社保・雇保・労災

★その他: 業務請負会社での勤務となります。

求人問合せ専用ダイヤル # 0120-800-284

※日出工場は、JR賀陽駅より、R10号上り
速見フットサルコートを右折、車で5分 担当: 山下・本多

機械、デザイン、材料化

しんけん大分学検定

▼第1次試験日

10月18日(日)

▼受付期限

9月18日(金)

▼場所

県庁

▼問合先

県人事委員会

☎097-506-5222

高圧ガス製造保安責任者試験・高圧ガス販売主任者試験

▼受付期限

9月18日(金)

▼場所

県人事委員会

年齢、学歴、経験に関係なく誰でも受験できます。試験種類や試験地など詳細はお問い合わせください。

▼日時
9時30分～17時
（月）～9月4日(金)
必着

▼受験申請の受付期間

○電子申請 8月24日(金)
○書面申請 8月24日(金)
（月）～9月4日(金)
必着

*普通郵便のみ消印有効。

▼問合先

○高圧ガス保安協会九州支部
☎092-411-8308
○大分県試験事務所
☎097-534-0733

*学生または20歳未満は
2000円

▼問合先 大分学研究会
☎51-4910

『みどり香るまちづくり』企画コンテスト

▼応募期限 9月30日(水)

【こども検定】

今年から、小学5・6年生および中学生を対象とし

たこども検定を実施します。詳しくは、学校の先生にお尋ねください。

▼日時
11月3日(火・文化の日) 13時30分～15時

▼日時
11月3日(火・文化の日) 11時～12時

▼場所
大分銀行赤レンガ館ほか

▼定員
200名(先着順に締切)

▼資格
15歳以上(中学生を除く)

▼定員
120名(先着順に締切)

▼検定料
無料

▼検定料
無料

▼応募期間
（火）～30日(水)

▼応募期間
9月1日

▼応募期限
10月9日

▼（金）当日消印有効

まちづくりに『かおり』の要素を取り込み、住みよいかおり環境を創出する企画をお待ちしています。上位の企画には、副賞として企画に応じたかおりの樹木などの一部が提供されます。

応募方法などの詳細はホームページでご確認ください。

▼応募期限
10月9日

本当に良い家づくりセミナー開催!

医師も薦める健康になれる家づくり、失敗しないマイホームの建て方お教えします。住環境を改善することで健康になる事実を知っていただるために、住宅業界の実態や日本の家づくりの現状をお伝えします。※事前のお申込みが必要です。

9/27(日) 別府ビーコンプラザ(無料託児室あり)
講師／澤田升男[住医学研究会顧問]
主催／住医学研究会 協賛／利行建設
13:30～17:00

受講無料／先着100名様 詳しくは当社まで

大分県奨学会 高等学校等予約奨学生募集

平成28年4月に高等学校および高等専門学校・専修学校高等課程へ進学希望の方を対象に募集します。

◇募集期限

9月中旬
(在学する中学校を通じて行います。)

◇貸与期間

平成28年4月から在学する正規の標準修業年限の終了月まで

◇貸与額

月額が選択できます。
(卒業後返還しなければなりません。)

〈高等学校等奨学生〉(月額・円)

国・公立	私立
自宅	自宅外
18,000	23,000
14,000	18,000
9,000	12,000
15,000	18,000

〈入学支度金〉(入学時1回のみ・円)

国・公立	私立
50,000	100,000

*詳しくは中学校の先生または大分県奨学会までお問い合わせください。

■問合先

(公財) 大分県奨学会 ☎097-506-5620

無料
進呈

医師が薦める本物の健康住宅

住む人の健康を脅かしたり、長持ちしない建材はまったく使わずに建てる家、それが「**0宣言の家**」。これまでの室内の快適さの常識を大きく変える断熱工法と合わせたこの住まいは、医師や大学教授が認めた健康住宅として、書籍等でも紹介されています。

日出町に建築中！

現地でのご案内も可能です。

弊社までお問い合わせください。

ご希望の方10名様に、弊社の家づくりがわかる書籍最新号をプレゼントいたします。

お気軽にお問い合わせください。

この住宅を施工できるのは「住医学研究会」に加盟している工務店のみで、大分県では当社だけです。

有限会社 利行建設

〒873-0524 国東市国東町横手 1849-1

0120-59-1040





NHK・BSプレミアム
で放送予定の『
「にっぽん縦断こころ旅」』は、9月21日に徳島
県をスタートして、香川、

人権問題の相談に応じています

法務局では、子どもの人権問題、女性の人権問題、インターネットに関する人権侵害情報についての相談に応じています。

子どもの人権 110番
☎ 0120-007-110 (全国共通・無料)

女性の人権ホットライン
☎ 0570-070-810 (全国共通)

インターネットの人権侵害情報
☎ 0570-003-110 (全国共通)

* I P電話からは接続できません。I P電話の方は下記番号をご利用ください。
* 受付時間は、すべて平日8時30分～17時15分です。

■問合先 大分地方法務局杵築支局
☎ 0978-62-2271

『にっぽん縦断こころ旅』
お手紙募集

▼企画の要件 かおりのす
る樹木・宿根草・その
他の草花を30本以上用
いた、街区・近郊地区
などの『みどり香るま
ちづくり』を演出するま
企画

▼応募先
〒160-0023 東京
都新宿区西新宿4-2-
18 西新宿浅井ビル3階
(公社) におい・かおり
環境協会

▼問合先 環境省水・大気
環境局大気生活環境室
☎ 03-5309-2422

繩県をめざします。
番組は、皆さんからのお
手紙で旅のルートを決定す
るため、県内・町内の『忘
まつわる手紙を募集してい
ます。

岡山、広島、九州を経て沖
縄県をめざします。
番組は、皆さんからのお
手紙で旅のルートを決定す
るため、県内・町内の『忘
まつわる手紙を募集してい
ます。

○FAX 03-3465-1327
○郵送 〒150-8001 NHK「こころ旅」係
N H K ふれあいセンター
相談内容 遺言・成年後
見相談・不動産関連・内
容証明ほか

1つとして、毎月第3水曜
日(祝日の場合は翌日)に
開催しています。
▼日時 8月19日(水)
▼場所 大分県行政書士会
相談内容 遺言・成年後
見相談・不動産関連・内
容証明ほか

1つとして、毎月第3水曜
日(祝日の場合は翌日)に
開催しています。
▼日時 8月19日(水)
▼場所 大分県行政書士会
相談内容 遺言・成年後
見相談・不動産関連・内
容証明ほか

▼申込期限 8月26日(水)
▼申込・相談・問合先 県こころとかだの相談
支援センター
☎ 097-541-6290

▼対象 亡くされたご遺族
▼参加費 無料

▼場所 県こころとかだの
相談支援センター

▼日時 14時～16時
9月3日(木)

ご遺族の心のケアを目的
として、つどいを開催しま
す。参加者の気持ちの分か
ち合いをします。事前にお
申し込みください。

自死遺族のつどい
大分県行政書士会事務局
☎ 097-537-7089

消化器科・肛門科・外科・内科
泌尿器科・人工透析・リハビリテーション科

鈴木病院

速見郡日出町3904番6

TEL(代) 0977-73-2131

介護施設すずらん

・介護老人保健施設・グループホーム・デイケア
・ケアーホーム・介護支援センター

速見郡日出町藤原1691番地1

TEL(代) 0977-73-2151

<http://www.suzuki-hp.or.jp>

矢野小児科医院

院長 矢野英二

■診療時間
平 日 午前9:00～12:00 午後2:00～6:00
木曜日 午後休診(町の乳幼児健診)
土曜日 午前9:00～12:00 午後1:00～3:00
■乳幼児健診・予防接種 要予約
yanoclinic.com

8月26日(水)

JR豊岡 豊岡小学校 第二谷口歯科 GS口 松屋寺口 小倉
別府湾ロイヤルホテル GS口 歩道橋

院長 矢野英二

速見郡日出町大字豊岡 6100-251 TEL 0977-72-1011

医療法人
久寿会

消化器科・肛門科・外科・内科
泌尿器科・人工透析・リハビリテーション科

鈴木病院

速見郡日出町3904番6

TEL(代) 0977-73-2131

介護施設すずらん

・介護老人保健施設・グループホーム・デイケア
・ケアーホーム・介護支援センター

速見郡日出町藤原1691番地1

TEL(代) 0977-73-2151

<http://www.suzuki-hp.or.jp>

ちよつと

いい話



豊岡は城に住む娘さんの自宅を訪れていた、東京都在住の小林純子さん。6月12日に、町内で人の温かさを感じるできごとがあつたそうです。

13日に東京へ帰る予定だつた小林さんは、荷物を郵送するため、自転車で豊岡郵便局へ向かつています。郵便局への道中、バランスを崩して思いがけず転倒してしまい、顔や体にケガを負つてしまします。その場に座り込んで手当てをしていると「大丈夫ですか」という声が。またま車で通りかかつた方が声を掛け、親切にも郵便局まで荷物を運んでくれました。行き交う人に关心を持たない都会では、考えられないできごとだそうです。郵便局に着き、顔と手を洗つている間にその方は帰つてしまい、残念ながら名前を聞くことはできませんでした。

郵便局でケガの手当をしていて、心配した女性職員が応急処置を施してくれ、さらに郵便局長が病院まで連れて行つてくれました。整形

外科と脳外科を受診し、娘さんが迎えに来るまでに要した時間は3時間半ほど。その間、郵便局長がずっと付き添つてくれたので、非常に心強かつたそうです。

郵便局まで荷物を運んでくれた方が翌日、ケガの状態を気にして家を訪れました。外出中だつたため娘さんが対応し、その方が民生委員の宇都宮敬さん（西の二、西の三担当）だと分かつたそうです。娘さんの自宅が是城にあるため、宇都宮さんは是城担当の民生委員である廣瀬ミドリさんに情報提供を行います。事情

を聞いた廣瀬さんは、様子を気にして2度も家へ足を運びました。見ず知らずの自分に対し、ここまで気にかけてくれたことに、とても感銘を受けたそ

うです。

※この内容は、役場に寄せられた手紙と本人からの聴き取りを基に作成しました。

が移住してくれました」と、うれしそうに語ってくれました。

今回、自転車に乗つていて転倒しました。東京へ戻る日は数日延びてしましましたが、その代わりに、かけがえのない貴重な体験をしました。この体験、感謝の気持ちを親切にしてくれた方たちに伝えたい、また町民の皆さんにもこの話を知つてほしいという思いから、連絡をくださいました。

「豊岡郵便局の職員の皆さん、民生委員の皆さんに本当に親切にしていたいただき、感謝の気持ちでいっぱいです」という小林さん。「普段、道ですれ違う子どもからお年寄りまで、いいさつをしてく

れ、とても良い町に娘

日出中央医院

診療科目
内科 外科(ペインクリニック)
胃腸内科 疼痛緩和内科 麻酔科

院長 佐登 宣仁 顧問 大西韶治

入院施設有

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
午後2:00~5:30	○	○	往診	○	○	4:00	/
夜間5:30~7:00	/	○	/	/	/	/	/

夜間診療・訪問診療有 ☎ 0977-72-2534

整形外科・脳神経外科・内科・外科・リハビリテーション科・リウマチ科
サンライズ酒井病院 土曜日も
全科通常診療

日出町特定健診が4月から始まりました。受付中。

●昨年より子宮がん検診、乳がん検診、骨粗鬆症検診を行っています。

★ 子宮がん検診(毎週月曜日・金曜日)は女性医師 ★
乳がん検診は毎日行っています。

申込先 日出町役場健康増進課 長寿健康係 / 73-3130

脳ドック・人間ドック・企業健診▶月～土曜日
協会けんぽ健診 ご本人とご家族も対象!
お気軽にお問合せを

サンライズ酒井病院 / 72-2266
コールセンター / 72-5770

子どもと地域を幸せにできる学校をめざして

お互いを高める『学び合い』に取り組む藤原小



趣味は読書と運動。トライアスロンにも挑戦するという新宅先生

「織田信長と豊臣秀吉と徳川家康の中で、天下人として本当にふさわしいのは誰でしょう？」

これは、藤原小学校の社会の授業で出された質問です。自分なりの答えとその理由を考えてきた子どもたちは、教室の中を動き回りながら、自分の考えを友だちに説明したり、自分とは違う意見を聞いたり。

目標は『3人に説明すること』そして『3人から話を聞いて理解すること』。クラスの全員が目標を達成すると、「やったー！」と喜びの声が上がります。

この授業は藤原小学校が導入している『学び合い』の一例で、他の科目でも同じ取り組みが行われています。

『学び合い』とは、上越教育大学教職大学院の西川純教授が提唱している授業の進め方で、先生から与えられた課題を児童が自分たちで考え教え合い、目標を全

員が達成できるようにするというものです。藤原小学校では平成25年度から行われています。

導入した新宅俊文校長が『学び合い』に初めて出会ったのは、町外の小学校に赴任したときのこと。「勉強したってどうせ分からない」と多くの子どもが意欲を失っている状態を変えたいと思い、その方法を模索していたときでした。

『学び合い』では、児童どうしで教え合う時間があるため、教えてもらう方は「分からない」「もう1回説明して」と言いやすく、教える方も「なんで？」という質問に答えたり説明の仕方を工夫したりするため、どちらの立場でも理解度がより深まるそうです。

その小学校では、5年間この取り組みを続けた結果、児童のやる気が上がり、学校の学力が最高レベルになるという成果が出ました。



『学び合い』での子どもたちの様子

輝くひじ人 ひと No. 65

新宅 俊文さん (56)
(藤原小学校校長)